



大和名所圖會

漆上郡

二

ル 4
6321
2





大和名所圖會卷之二

添上郡目錄

興福寺 花林院 南圓堂 彰射石 藤南大門
 猿澤池 山邊赤人塔
 轟橋
 雲井坂
 善城寺 春日祠
 賴長墓
 後惠屋敷
 松本昆沙門
 玄肪松
 百萬過子

采女祠
 十三鐘
 佐保川
 函石
 千坊阪
 珠光之茶室
 初宮明神
 韓神祠
 焰魔堂

一條院 言主祠 花之井
 夜懸柳
 龍燈松
 奈良坂
 般若寺 十三重石塔
 阿閉寺
 祇園社
 佐保殿蹟
 率川阪奉陵
 蛭子社

大系院
 楊貴妃櫻
 荻蒨橋
 般若野
 蓋率都婆
 空海寺
 威德井
 尼池
 鹽瀨趾
 大井



久秀城跡
手分森
飛二布宅
光明院蹟
裸大師
誕生寺
安養寺
能登川
紀寺
赤極社
鏡祠
海龍王寺
倭文社

眉間寺
興福尼院
默阿弥宅
可須理井
小塔院趾
傾城町
極樂院
富士権現
鬼界
不空院
勝願院也藏
元明帝陵
楊梅陵

佐保山南陵
率川社
飯殿町
千力雄祠
豐成公塔
悲田院
御靈祠
道祖神
頭塔
隅夜堂
不退寺
元正帝陵
沽向泉

大石一説七足嶺
率川の波社
大宿所
阿字卍字町
飛鳥井
紹巴屋敷
元興寺
魚養墓
法多
新薬師寺
法善寺
辰市社
大安寺の蹟

柏木社
深谷溪
天乃石立社
名張川
烽火山
和爾社
藤原
虚空藏寺
人磨墳

真野荻原
平法多
長支布社
桃香野八幡
宅布世社
穴次社
帯解地藏
清澄池

中川寺
氷室舊趾
早八飛泉
八丈巖
永井池
崇道皇陵
治道社
菩提山

忍辱山
柳生營
桃香野波口
光仁帝陵
和珥池
八嶋寺
龍腹寺
柳本寺

八重桜

古今

古くは

うら

あつ

都

色

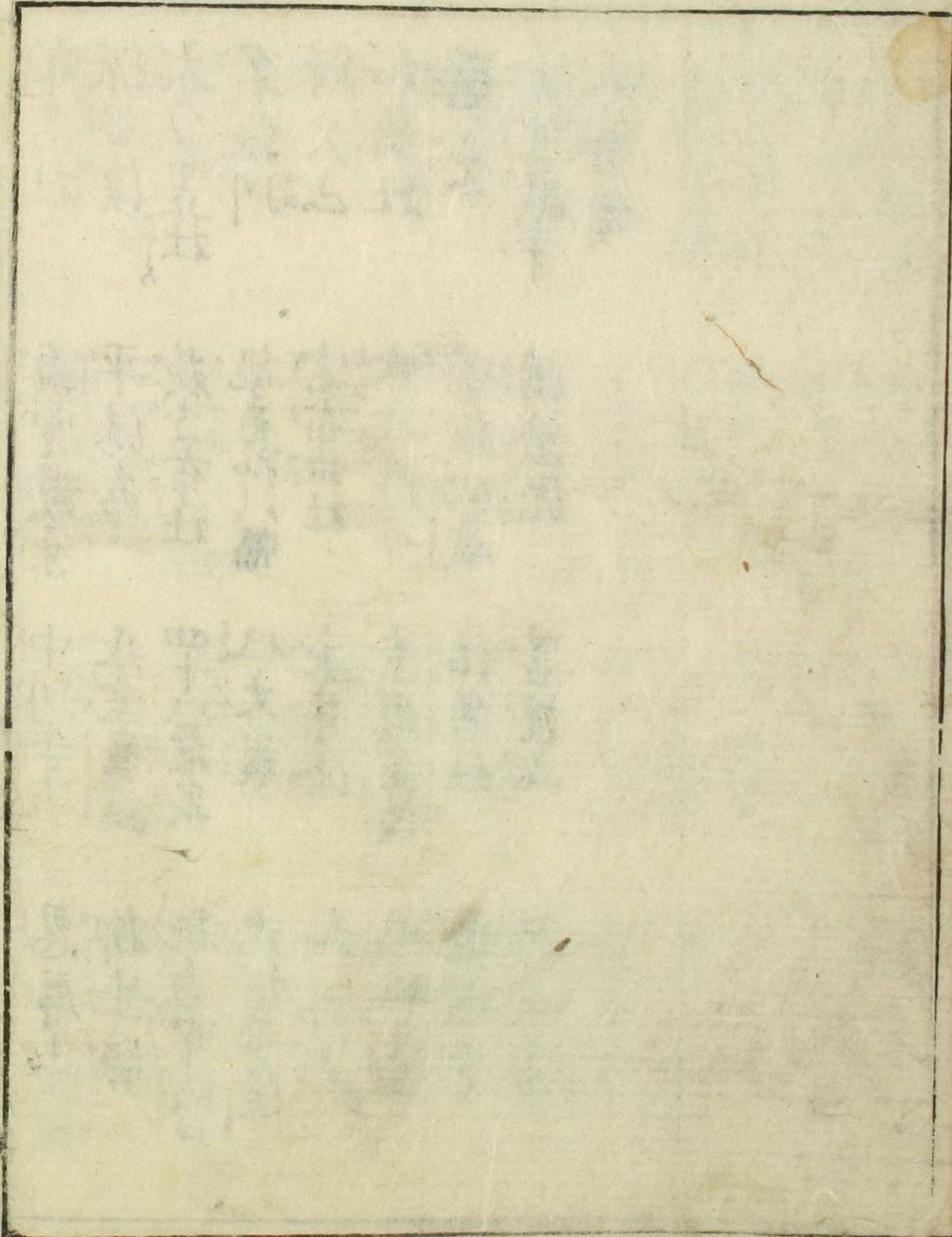
心

花

咲

うら

門





興福寺

南都あり一名いみじ大織冠鎌子大臣之城國守治郡小野郷山階

里陶系の家小居位一終い時けき不造宮あり一よりと階とさるのけられ

其時齊明二年之秋一説云天智天皇即位八年熾室

鏡女主人織冠の所より建られしあり御唄厭后天武天皇自鳳元年大和國

高市郡麻坂よりいれ麻坂よりい風表記 厭后天武天皇和銅二年春日の地

よりい淡海宮造宮ありと舊の名改め興福寺と號しめい春日乃

神宮寺とてま自さるし五重唯識の法水佐保川のさるはははと四所

明神の擁護の二堂の風代より貞承子の古佛不二門小入るの金鬼より

南大門金剛力士の二王の像かと入られり夫人曰暉寫門より敷石小澤寫影付

定紋澤寫の候薪の純け所四府の大夫毎年二月七日よりつめて十日終る

造立とせりそれ例式弘仁十二年當寺の東金堂并八相のた西金堂並二相の

花六十種の者たかきり擁護の祖神檢實の諸神を勸請して供養せしけは金堂

益夜とつらにちねの薪かたつらにけり人あり西金堂の場より

雷多く落空るに是りたり大衆發した金瓶よりて是擁護の神は法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

急りけり急りけりをけりる備座一詞に終るるは西金堂の法金に

中金堂

本尊は丈六の釋迦の像之眉向の玉を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

東金堂 神龜元年七月九日正平河内國の天王體安穩の所祈小聖武奉の所建立

西金堂 天平六年正月光明皇后御所橋公の氏の子を建たしめくの水鏡の

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

大織冠鎌子大臣の四菩薩四天王の像を冠し國りほどりり五尊小世尊乃教

南圓堂

本堂の不安定羅索觀... 西國巡礼所... 補陀洛の南の... 補陀洛の南の... 補陀洛の南の...

北圓堂

本尊の彌勒佛... 觀音の淨土... 北圓堂の北家房... 北圓堂の北家房...

大講堂

本尊の彌勒佛... 家の祖武智磨... 後拾遺集... 大講堂の祖武智磨...

五重塔

五智如來... 社より塔... 五重塔の高さを... 五重塔の高さを...

窪辨財天祠

弘仁年中弘法大師... 窪辨財天祠の弘法大師... 窪辨財天祠の弘法大師...

一言主祠

神の階下あり... 一言主祠の神の階下あり... 一言主祠の神の階下あり...

花の井

寛文の記... 彫射石... 花の井の寛文の記... 花の井の寛文の記...

藤

寛文記... 藤の寛文記... 藤の寛文記...

橘

記云... 橘の記云... 橘の記云...

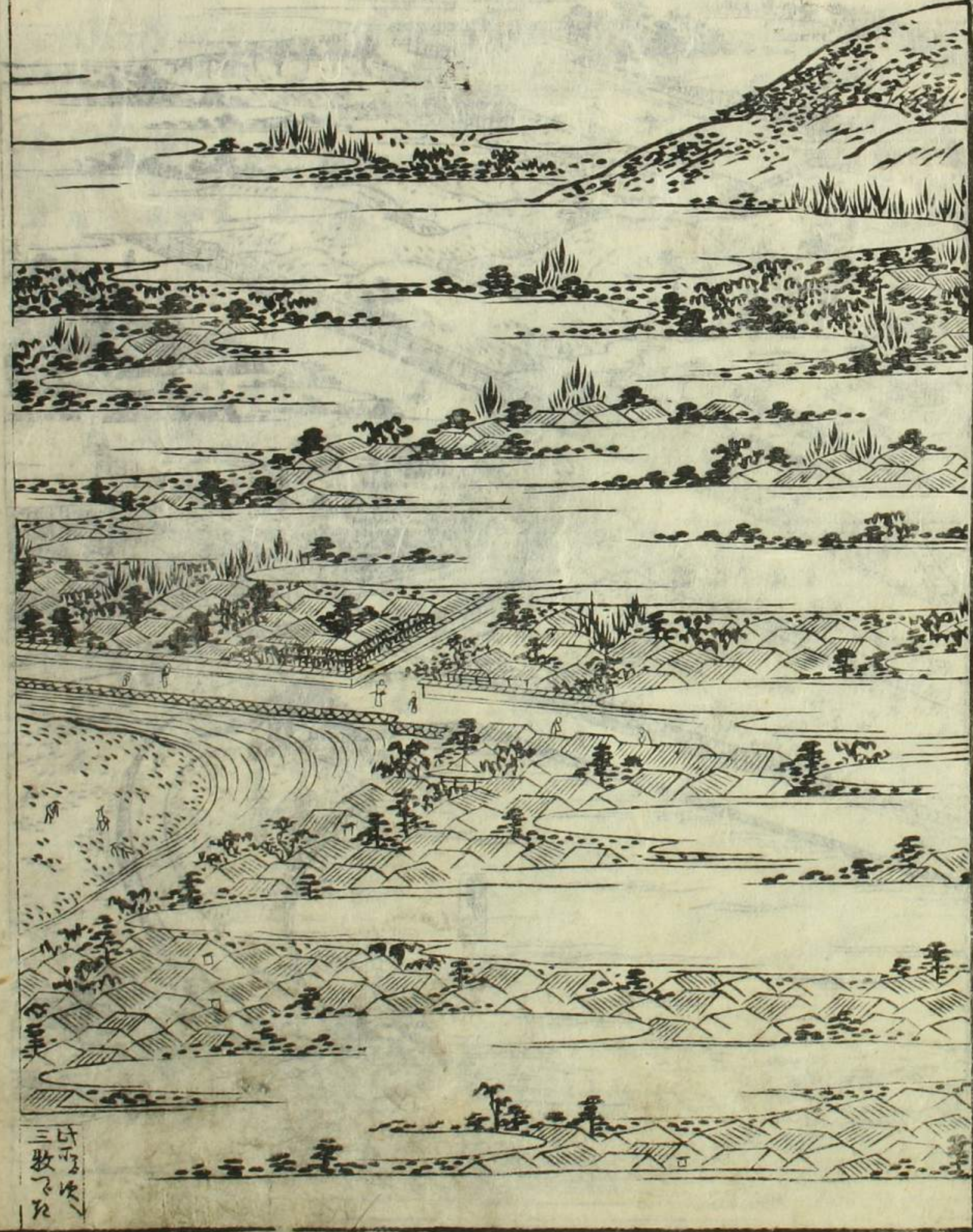
八重櫻

一條院... 八重櫻の一條院... 八重櫻の一條院...

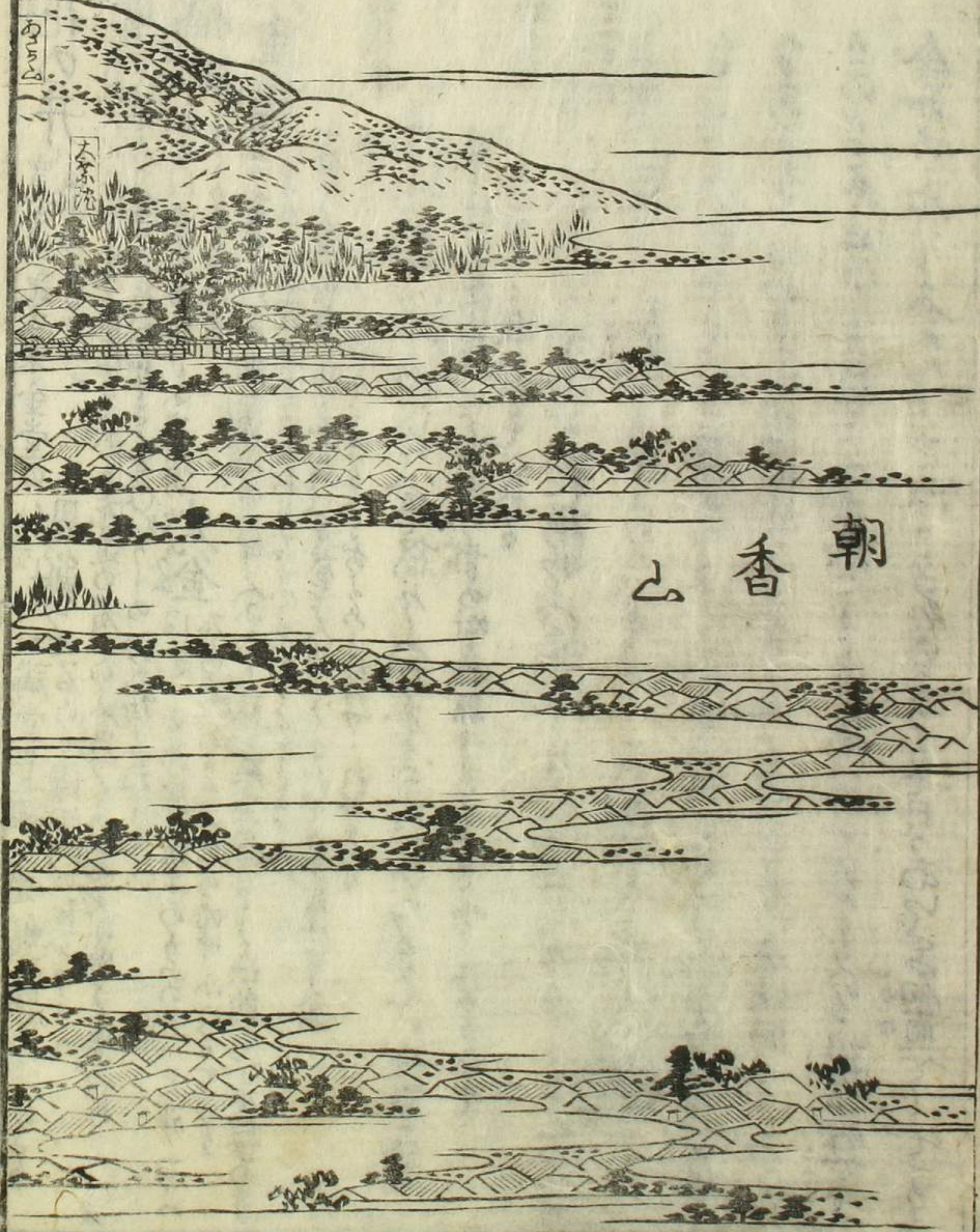
詞花集

詞花集の... 詞花集の... 詞花集の...

寺福興

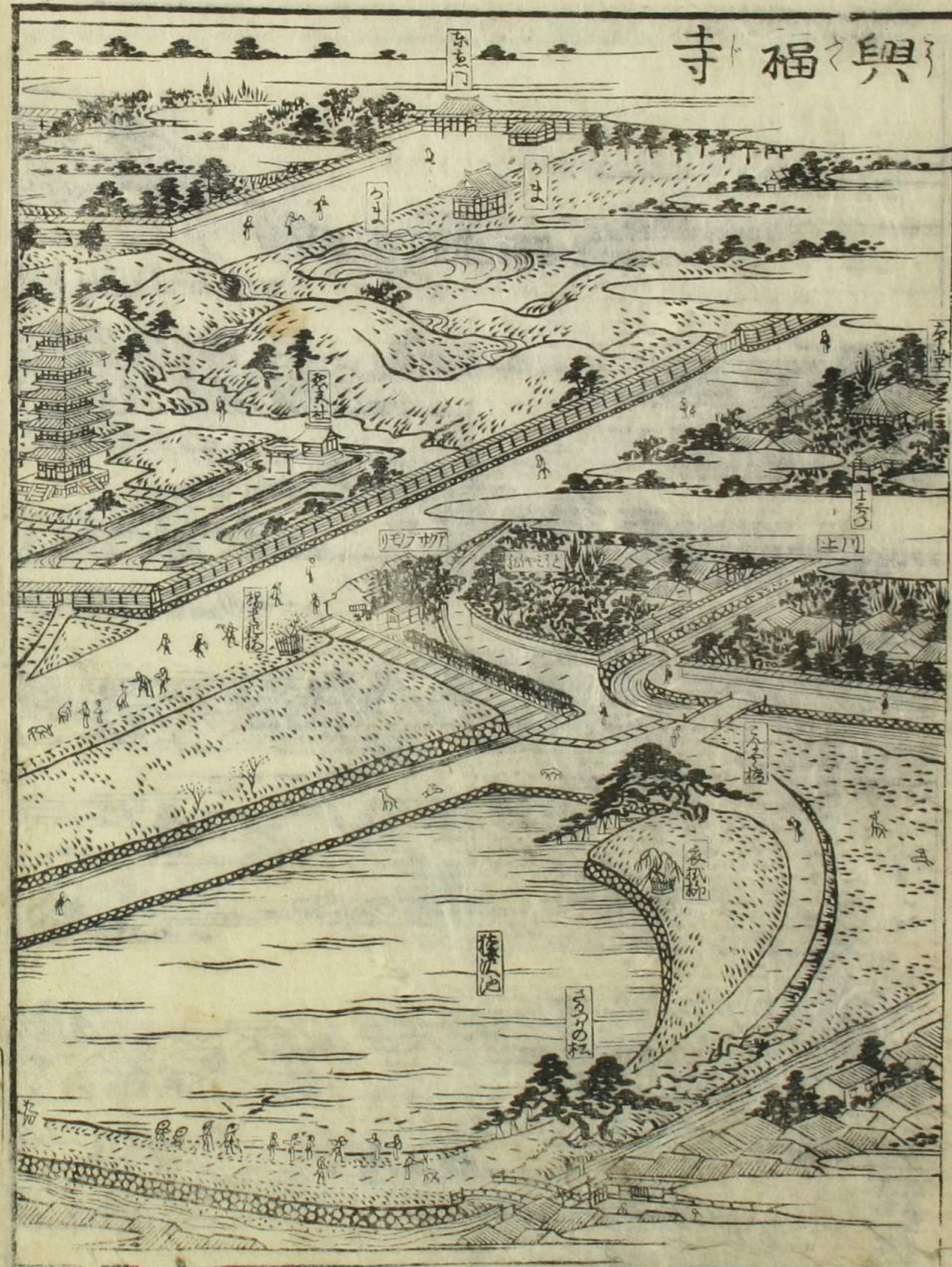
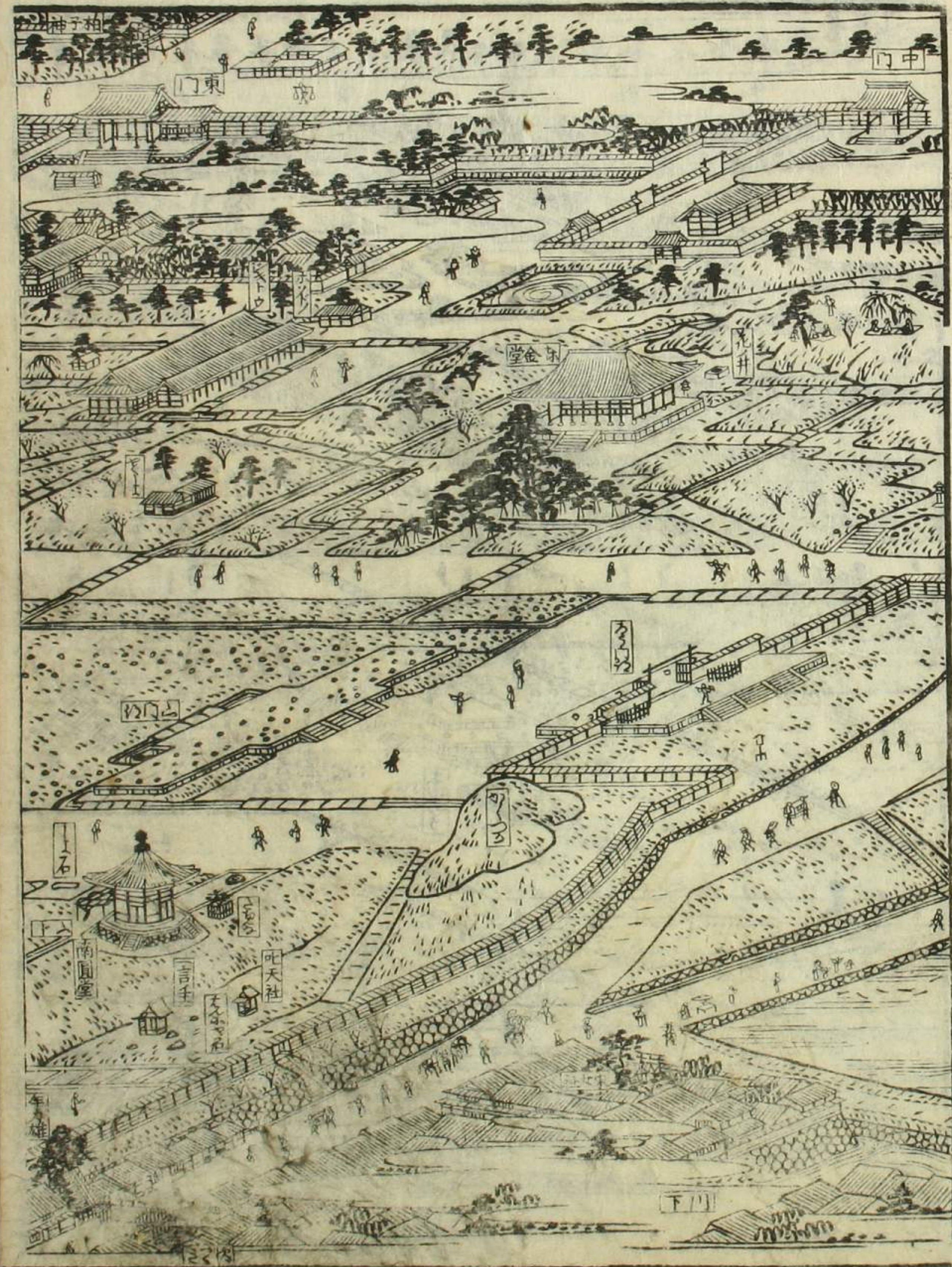


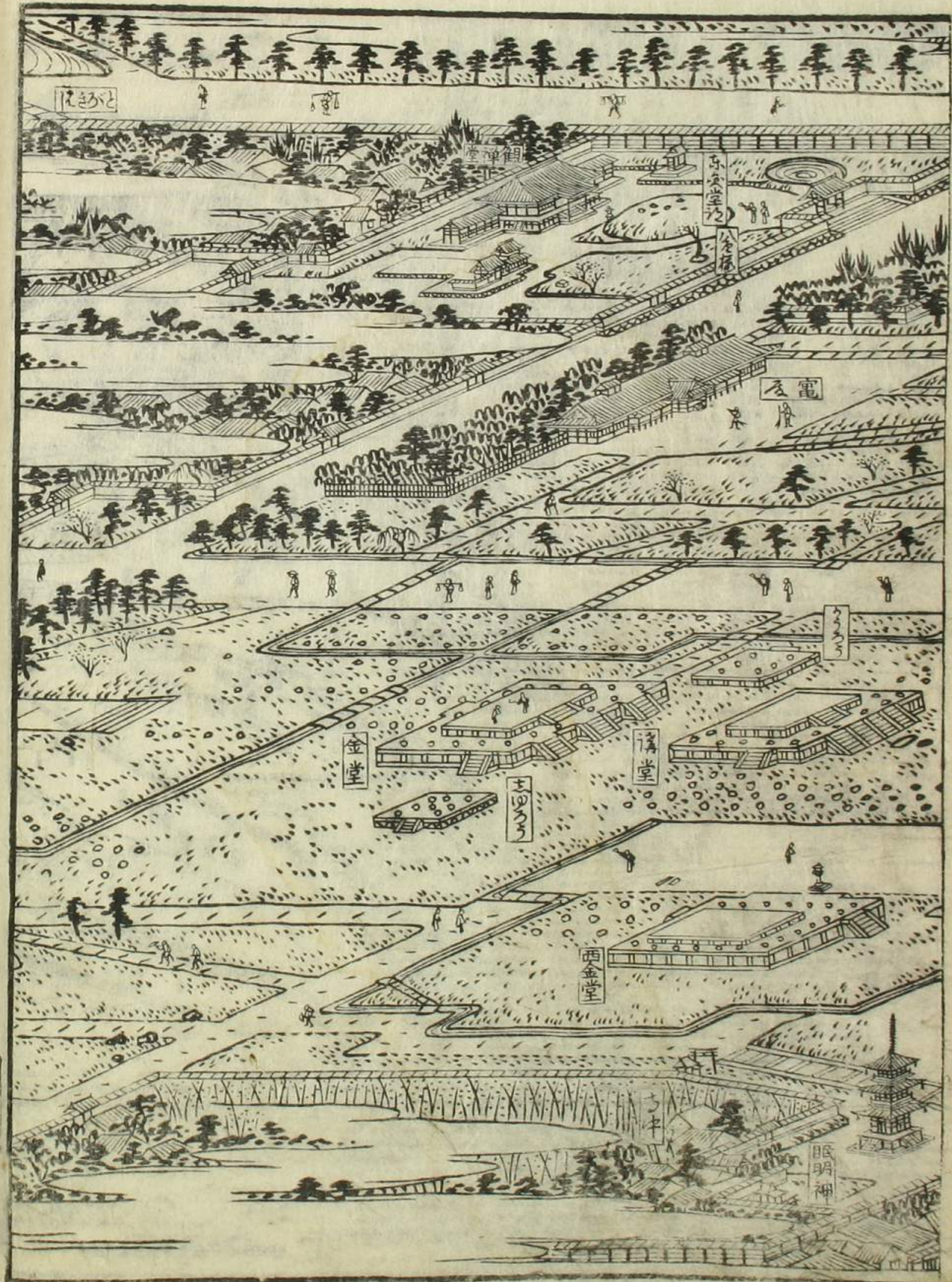
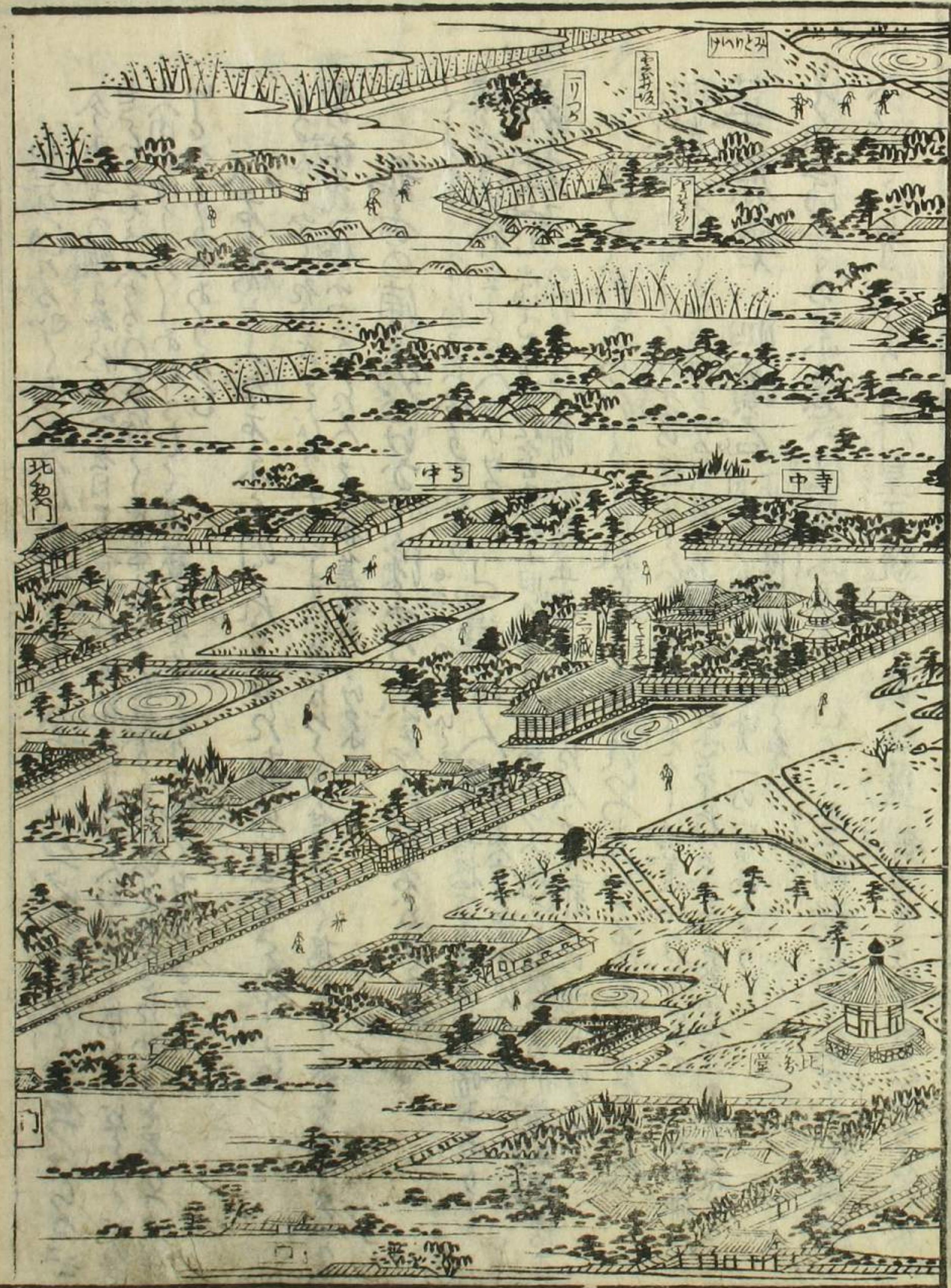
三牧子



朝香山

二八





らせぬひたるやありたりし余世のたふあしとてね垣のたふあしとて
今ふけの願、我々のま目とあ宮の神は祐養とて人あり八を極かつたあしとて
世のいそろへりたるの心は神は祐養とて人あり八を極かつたあしとて
大内小僧のあしとて其極とてせられたる極とてありたり
いとありやありたり

八を極つたあしとて其極とてせられたる極とてありたり

和歌の浦小僧のあしとて其極とてせられたる極とてありたり

和歌の浦小僧のあしとて其極とてせられたる極とてありたり

花林院の住持のあしとて其極とてせられたる極とてありたり

花林院の住持のあしとて其極とてせられたる極とてありたり

華原磬 泗濱石 自享記云此寺中有一の寶あり

それ當寺の宗意は法相宗なりとてむりて玄昉傍正降朝せられたる真福

小法とて自らより神皇正統記小載伽藍魏々として七寶とてありたる舟

かつ後とて靈佛靈尊のあしとて其極とてせられたる極とてありたり

元慶二年に堂舎傍坊一対に圓縁小乃の類聚國史小乃とてそれより

再建あり厥后も火災雷火兵火小罹と焼亡の事朝野群載帝王編年

百練抄考小記 近々享保二年の火災上り礎のみありて伽藍再建あり

志とて南都の大慶ありと名する靈跡とて百分九十九にわたりたり

周國既小本系漢系芳村せられたるはやりの事ありたり

一条院 新書曰此院と大系院とありて寺勢微小とてありたり大平寶字

大系院 舊約出考曰此院と大系院とありて寺勢微小とてありたり大平寶字

菩提院 眞經云此院と大系院とありて寺勢微小とてありたり大平寶字

修學地事ありとて利ありとて此院の道とてありたり大平寶字

信く我道心開発なりとて利ありとて此院の道とてありたり大平寶字

つとめいと小乃とて寺ありとて利ありとて此院の道とてありたり大平寶字

二年二月十日小乃とて寺ありとて利ありとて此院の道とてありたり大平寶字

ひつとめいと小乃とて寺ありとて利ありとて此院の道とてありたり大平寶字

の十一西初世のあしとて其極とてせられたる極とてありたり

いかに観るも念一補陀修小せられたるはやりの事ありたり

薪火能

紀事二日

南大門ふ於く薪火能の
ころしりい真後三月の
法今表法うれん寺僧
春き小堀はく内ち
於く薪火焼其光小統て
仙優とる長表の戯
其後四座の儀はるんて
おむ三月七日より
十四日に至るまで
紙がましく雨の降る
るん様は紙
湿るる時いなる
うりしめお宮を



能わり九月十日の
五日四座を
おむる

舞入る
采女や
柳より
そのの
涼飾



猿澤池

真福寺の東のやとあり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ
は名ありて猿澤池に名あり猿澤池の名にたり造るるなり

しうしんの中河川に流るるやとあり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ
よひ上人ふもあひつれしむらりりそのあひつれしむらりり
たむらふしむらりりしむらりりしむらりりしむらりりしむらりり
よひりあふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
世ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ほも河川にええええええええええええええええええええええ
圓一りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
給く人々ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
つれもふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
とよあふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
猿澤の池に流るるやとあり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ
とよふ給ひりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

采女祠

猿澤の池に流るるやとあり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ
は名ありて猿澤池に名あり猿澤池の名にたり造るるなり

衣掛柳

右樹まわりの柳は采女身が掛つた柳のたむらりりりりりり

猿沢の池のやとあり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ

猿沢の池に流るるやとあり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ

楊貴妃櫻

日所ふありむらり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ

轟橋

東大興福寺の中河川に流るるやとあり元要記曰興南院権僧正快祐勸修寺といふ

おぼろふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

雲井坂

北ふありりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

龍燈籠 葯菖蒲橋 共ふ十三丁のやとあり

佐保川

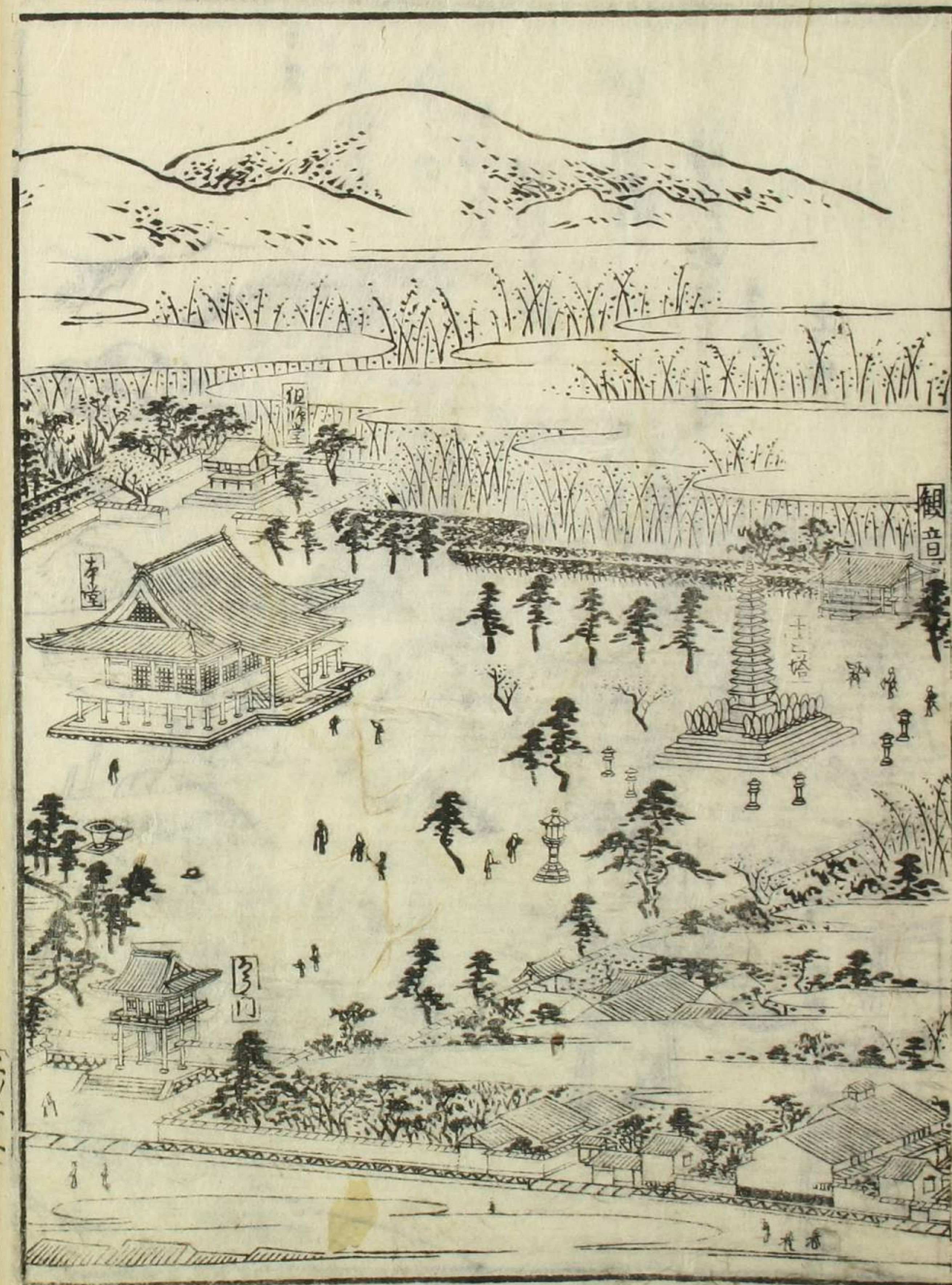
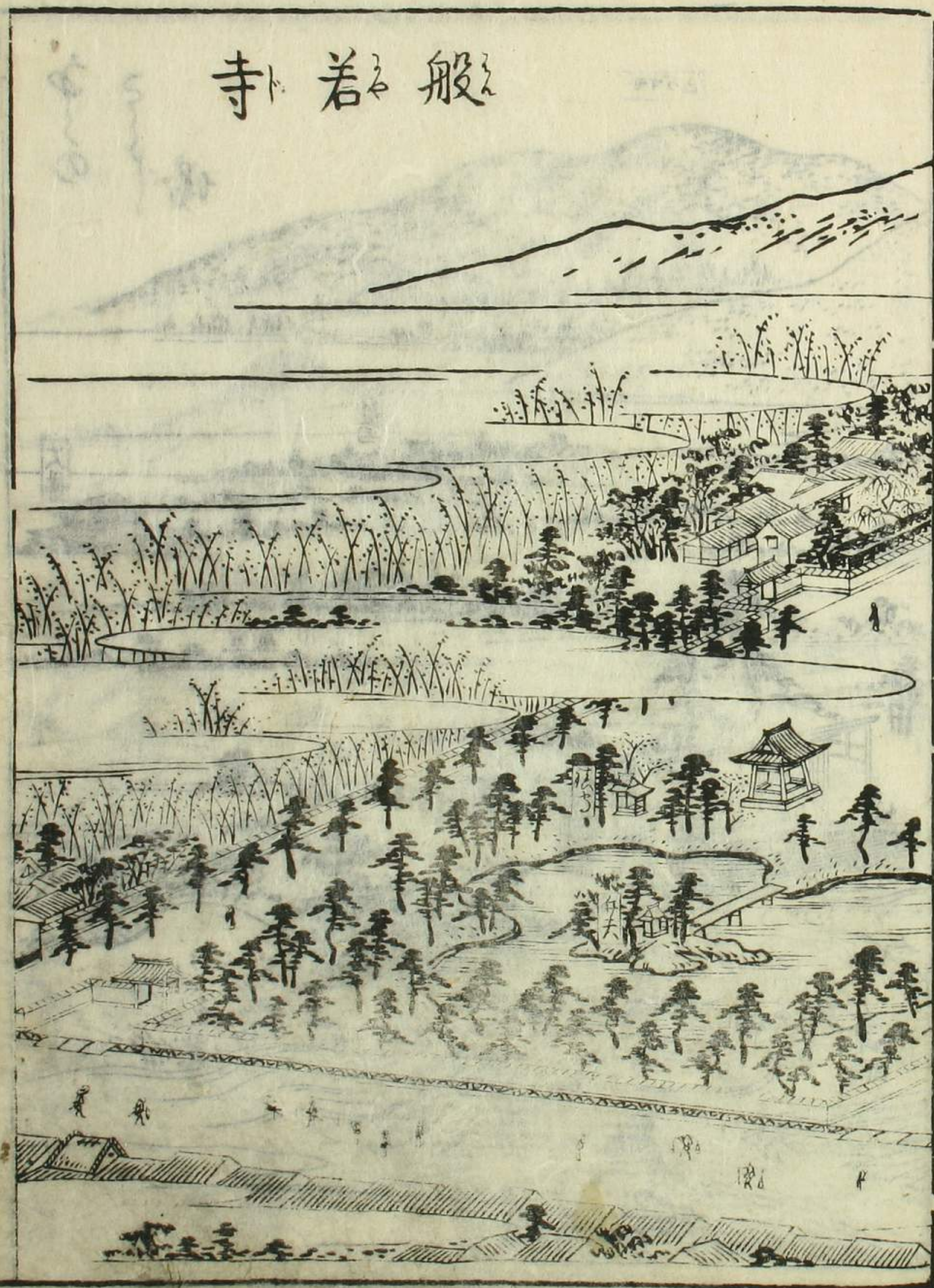
今を家所流るる蓋ふ至付村遷小石橋ありけ下流といふを流るる日と

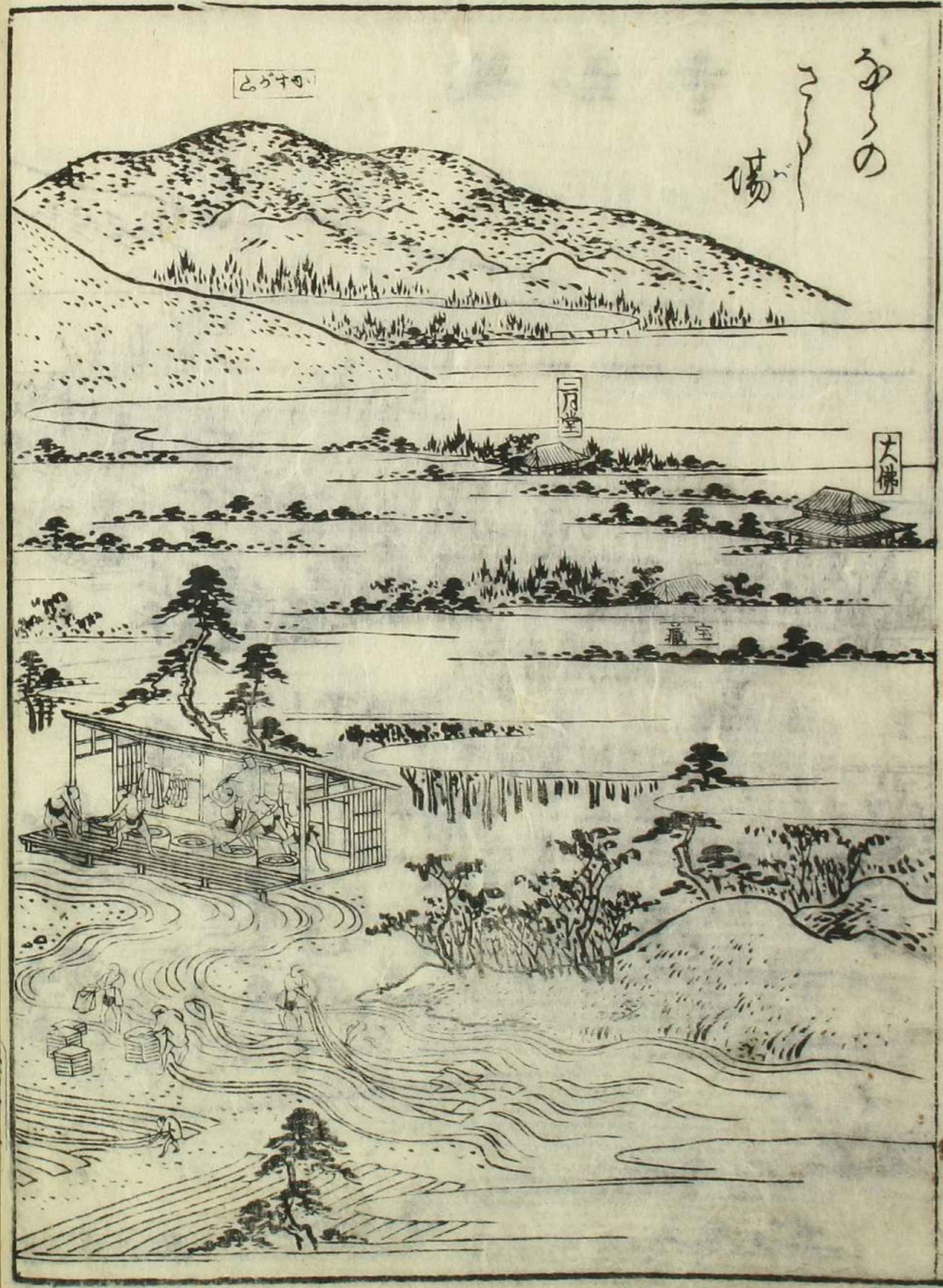
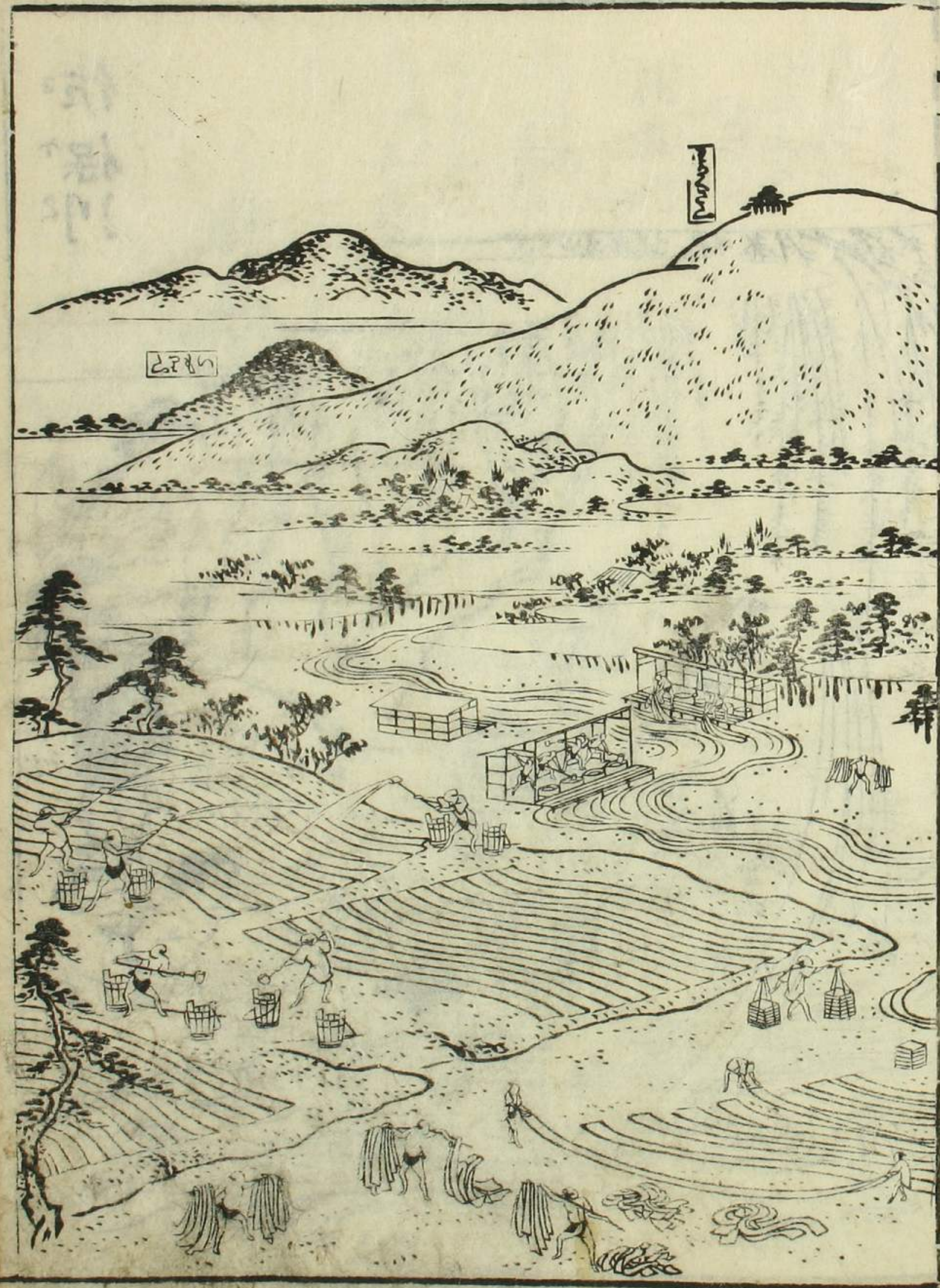
金葉

ふるふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
ま日と冬よりゆる月経佐保の川瀬の氷ありけり
花をらららららららららららららららららららららららららら

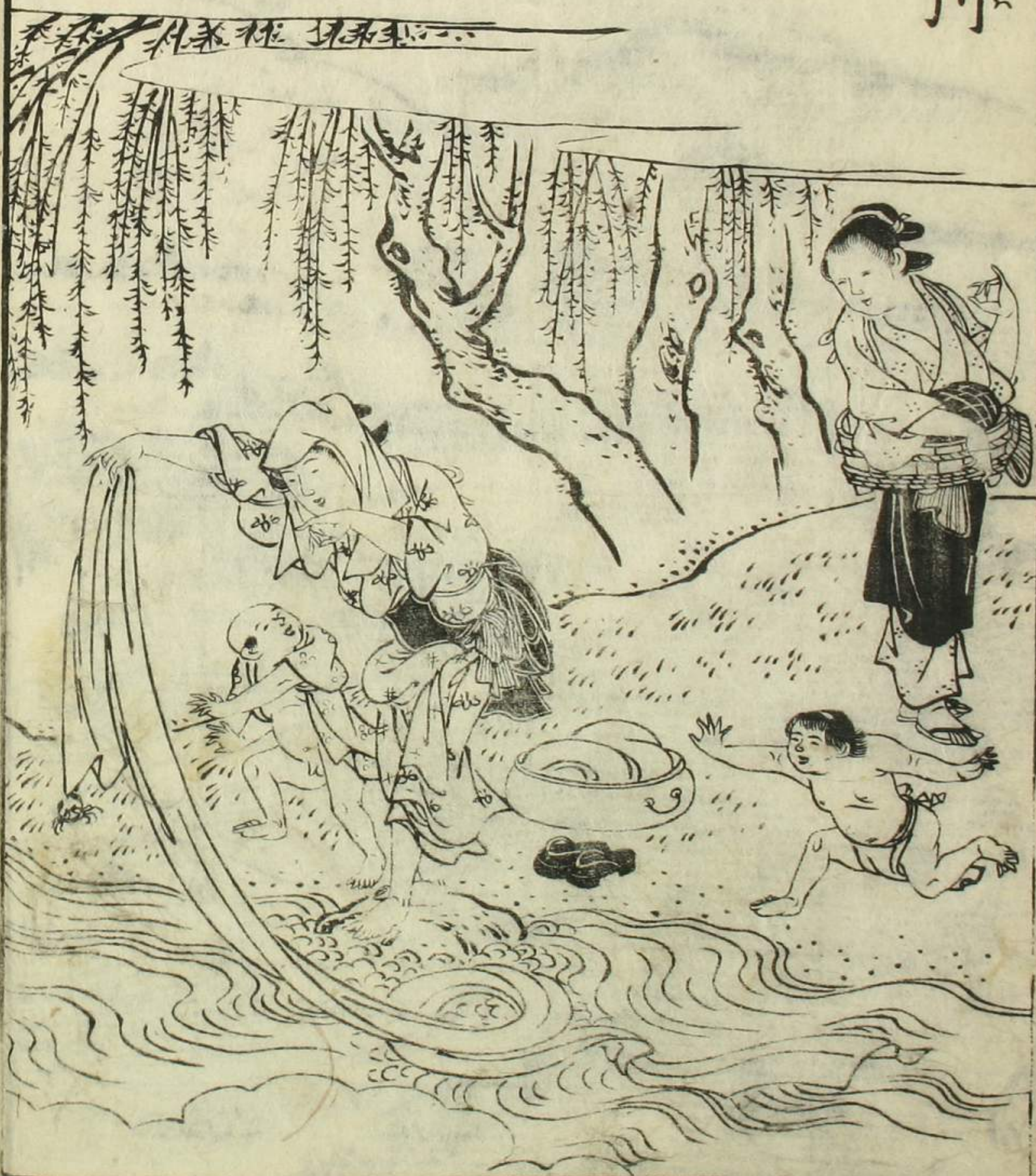


般若寺





佐保川



佐保川

佐保川

あの上

のみな

のけ

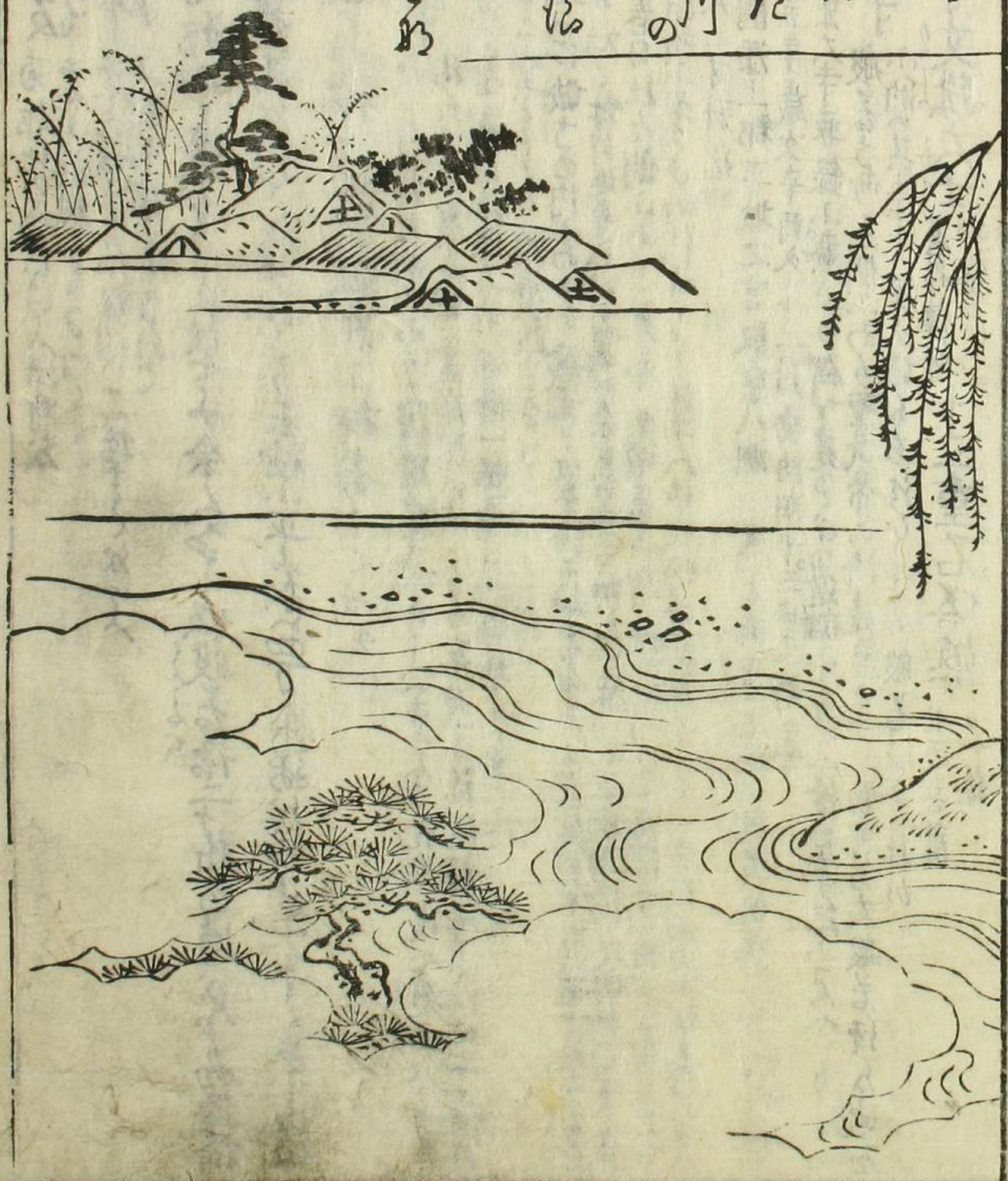
佐保川

の

あの上

のみな

のけ



奈良坂 南都北の入口なりは町名

般若路 又般若路ともいふ

逆後本引はげはり老後平家四方余路は二丁五分を素の坂

般若路二丁所の城郭小押ありと云

善城寺 善城寺の境内ありは化禪定あり一東大寺乾の一院之礎石あり

春日社 春日社延喜式神名帳曰太良良豆比古神社一座之土人坐禪の伊勢九月九日

函石 春日社左側小あり是石元明帝の碑石なり一藏室に羅良峯小あり

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

本尊文殊大士の像 十二重石塔婆 北五菩薩 石像

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

般若寺 般若寺の境内あり聖武帝の御建立なり一勅書の大般若経の地蔵

珠光之茶室

蓋河土門氏の家小あり珠光茶室なるは、建永元年、其後、有邪歸水門とて、新小居に於て茶室永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

祇園社

威徳井

押上町東側、人家の傍小あり、又從光井とて、書む、小所、小所、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

初宮明神

佐保殿舊蹟

尼池

舌舂

韓神祠

率川坂本陵

鹽瀬宗二跡

相傳々々、日本小所、姓、改む、初、有邪、歸水門、新小居、に於て、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

百萬辻子

脂魔堂

銍子社

大井

松永久秀城趾

眉間寺

佐保之南陵

佐保之東陵

大石

相傳々々、日本小所、姓、改む、初、有邪、歸水門、新小居、に於て、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

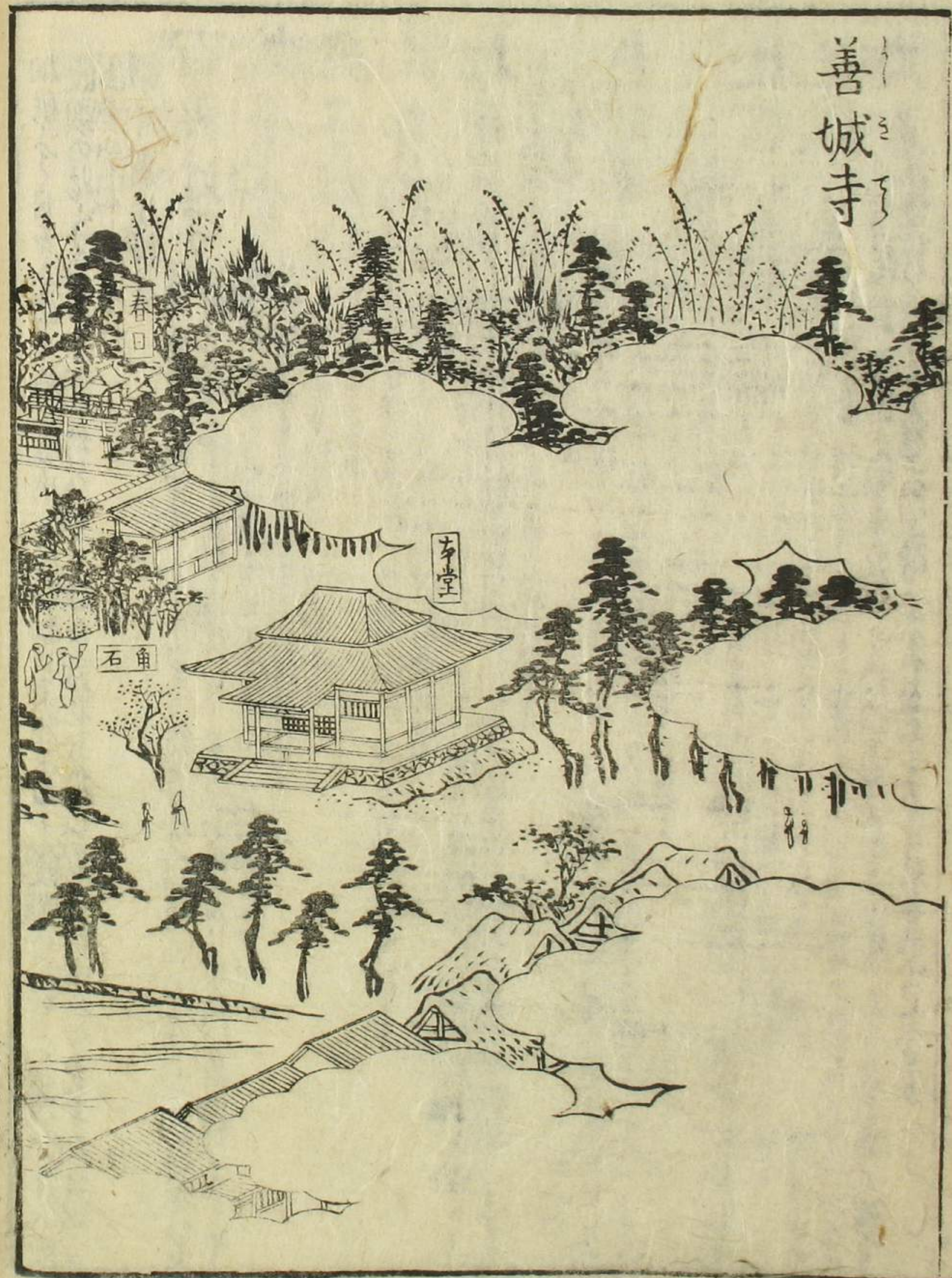
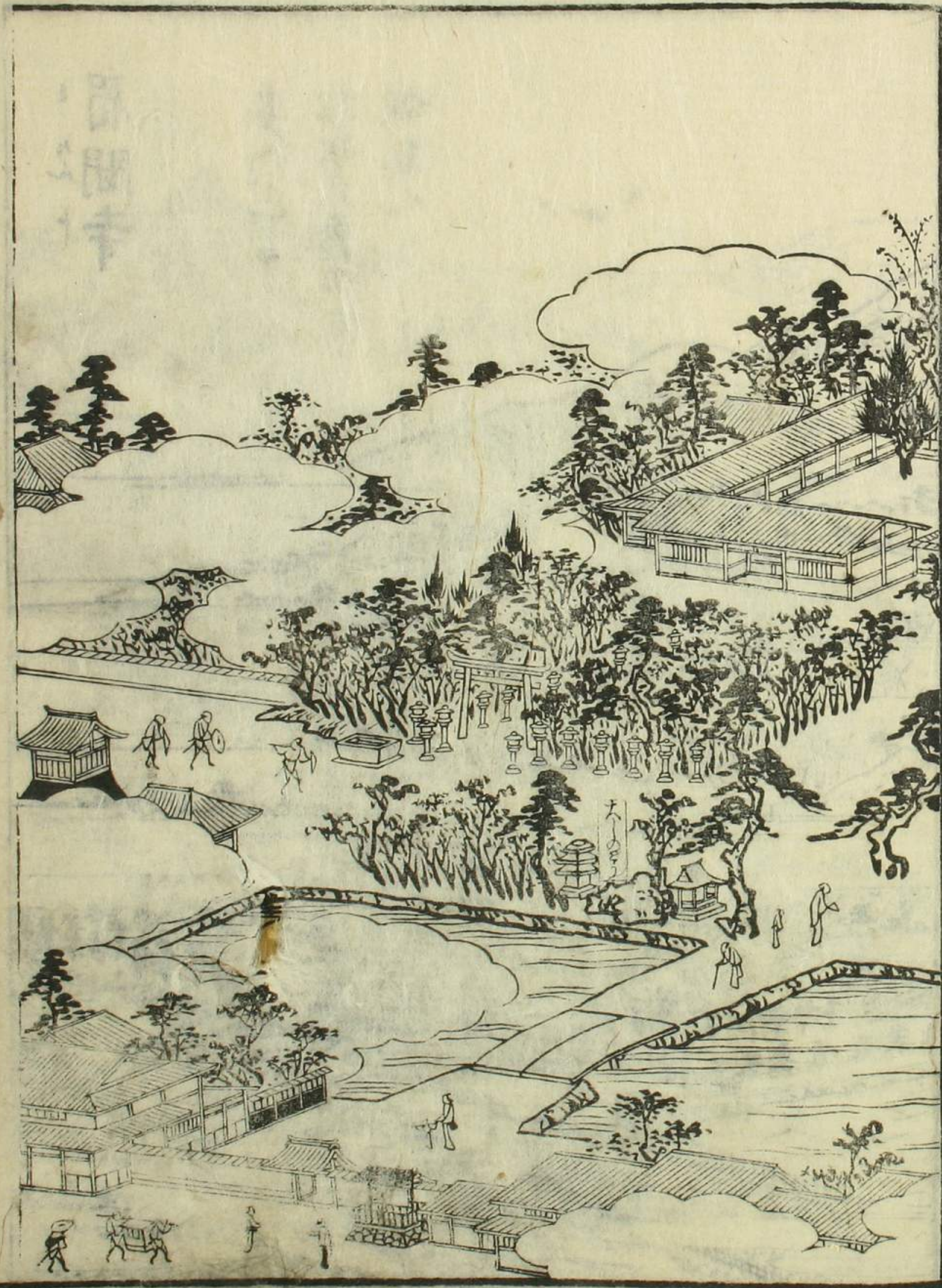
相傳々々、日本小所、姓、改む、初、有邪、歸水門、新小居、に於て、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

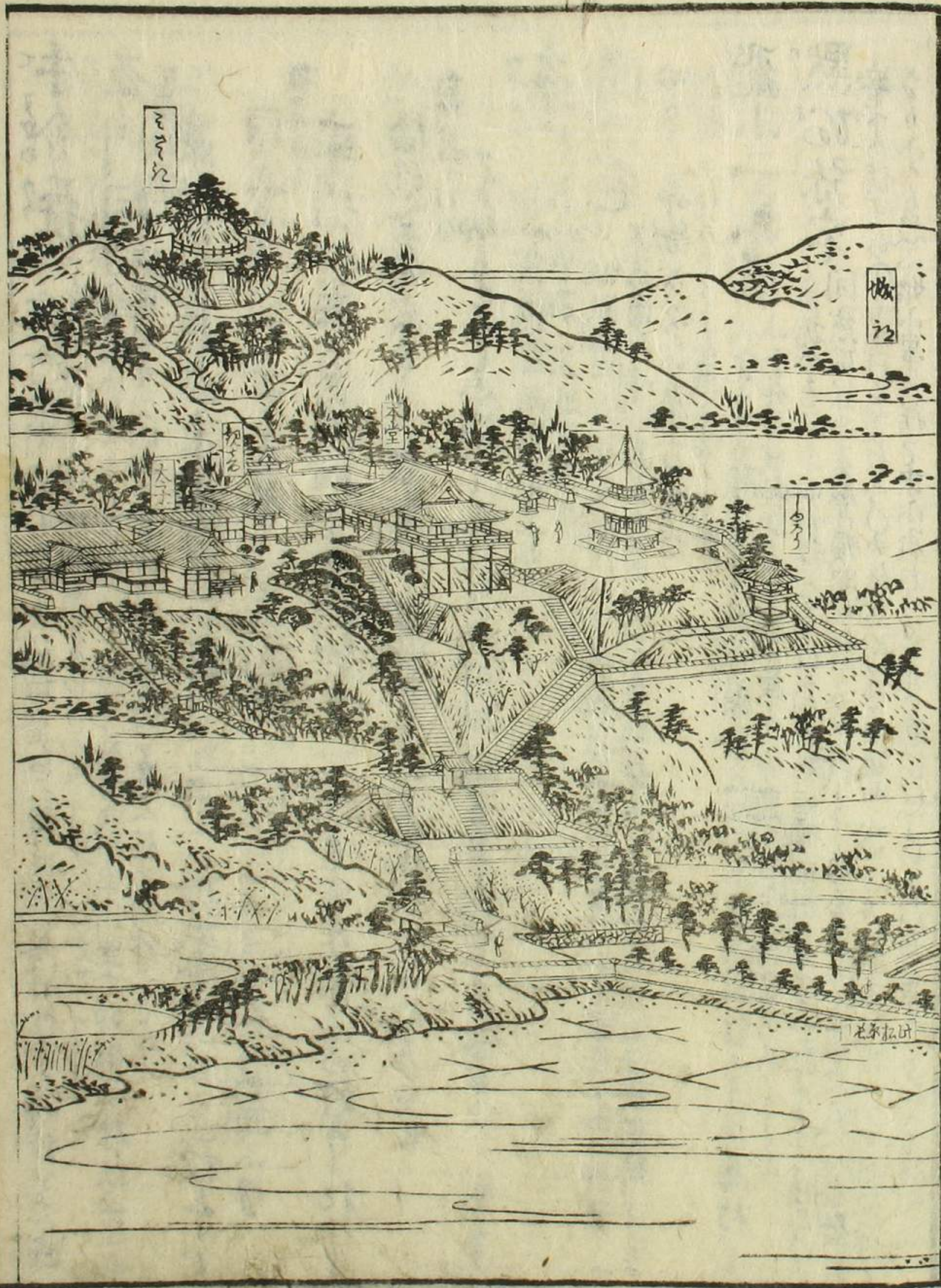
相傳々々、日本小所、姓、改む、初、有邪、歸水門、新小居、に於て、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

相傳々々、日本小所、姓、改む、初、有邪、歸水門、新小居、に於て、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

相傳々々、日本小所、姓、改む、初、有邪、歸水門、新小居、に於て、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々

相傳々々、日本小所、姓、改む、初、有邪、歸水門、新小居、に於て、茶室、永祿の火災、茶室の再建、金澤の茶室、其の移りて云々





眉間寺 とく

多門とと
松永久秀の
城跡



手分森 下二條町新小ありのりし神功聖廟の神祇退治の時住吉大明神と大将

率川祠 子守町小あり土人子守社とて延喜式曰率川聖大御子神社二座云

率川系上西日比系春日系のわたり目かむる神祇合小のさる二枝をよと

率川社の春日の神社ふるるのけいけいさうとやらんぞくの社ありたけい

ゆの天下なりしとてさるさるみほひあんの所ちうひあり云云

率川阿波神社 西城戸町小あり

道六宅 平城趾跡曰小川町東側北の端川の側他家なりと道六と其姓氏とあり常

飛小二良家 日記云角振の南四町の甲原家なり小二良が時代はさるる俗傳云

黙の弥宅 同然の弥のち名聲順昭然ゆるゆ代と存今のち道六とて黙の弥とて

飯殿町 利寔六月日小始とて落の供所が採りしりは名あり又飯殿とてい

大宿所 十月曾小龍田川にりて坂離しとてりり明神が勧誘し十一月廿八日小

光明院遺蹟 日町南有光明院西の小例小地蔵堂

可須理井 橋本町小あり弘法大師の塚あり

手力雄神祠 日町小例

阿字元字町 下町門町の南小あり元貞寺の

深井 下町門町

八つらり秋の八つさたつの赤れうの後の志のいふさる

樋下和詞集云 光明院小くは善経の料紙のおとくすめけり云

八つ秋のころかよめは

樋下和詞集云

樋下和詞集云

樋下和詞集云

樋下和詞集云

樋下和詞集云

樋下和詞集云

樋下和詞集云

樋下和詞集云

樋下和詞集云

裸大師

高市門所會所小あり弘法大師の能といふ

小塔院趾

姓新所小あり元貞寺の護命傍正の位多し新

法那

法那住吉郡と小入る苦行一徳相の大衆はあひひり

頭上

頭上に二粒は得たり靈異類に於て長四年傍正

終る

終る其時法樂院内小けり續日本紀小あり

忍

忍正の能化之故小あり護命味傍といひ

み

みそといふおかり七まよりけり小あり

豊成公塔

豊成公塔四の曲考之南都高城小あり

引

引のこけ杖や花咲石乃井

飛鳥井

飛鳥井白の過子有別異隅氏家の奥小あり

誕生寺

誕生寺二棟所小あり傳之は所の儀

誕生水

誕生水二棟所小あり傳之は所の儀

南都の傾城所

南都の傾城所本は過鴨川といひ縦横小あり

虎藏竹翁

虎藏竹翁といふ人の奴あり秀吉公薨去の後

蔵

蔵は條之節所小住居は其時の全盛なる

ら

らひ實水二年に南都小あり傾城郭は所

悲田院

悲田院南城戸所東側小ありい

安養寺

安養寺二棟所小あり本尊は二尊の

紹巴屋敷

紹巴屋敷南都所夫祠の巽方

極樂院

極樂院本尊は智光法師感得の曼陀羅

御靈祠

御靈祠所靈堂所にあり洛陽所靈八所

元興寺

元興寺日本紀曰推古天皇四年

飛

飛鳥寺西小法興寺といひ

靈

靈本のうらむ彫刻といひ

長

長谷寺といふ葉の叶い

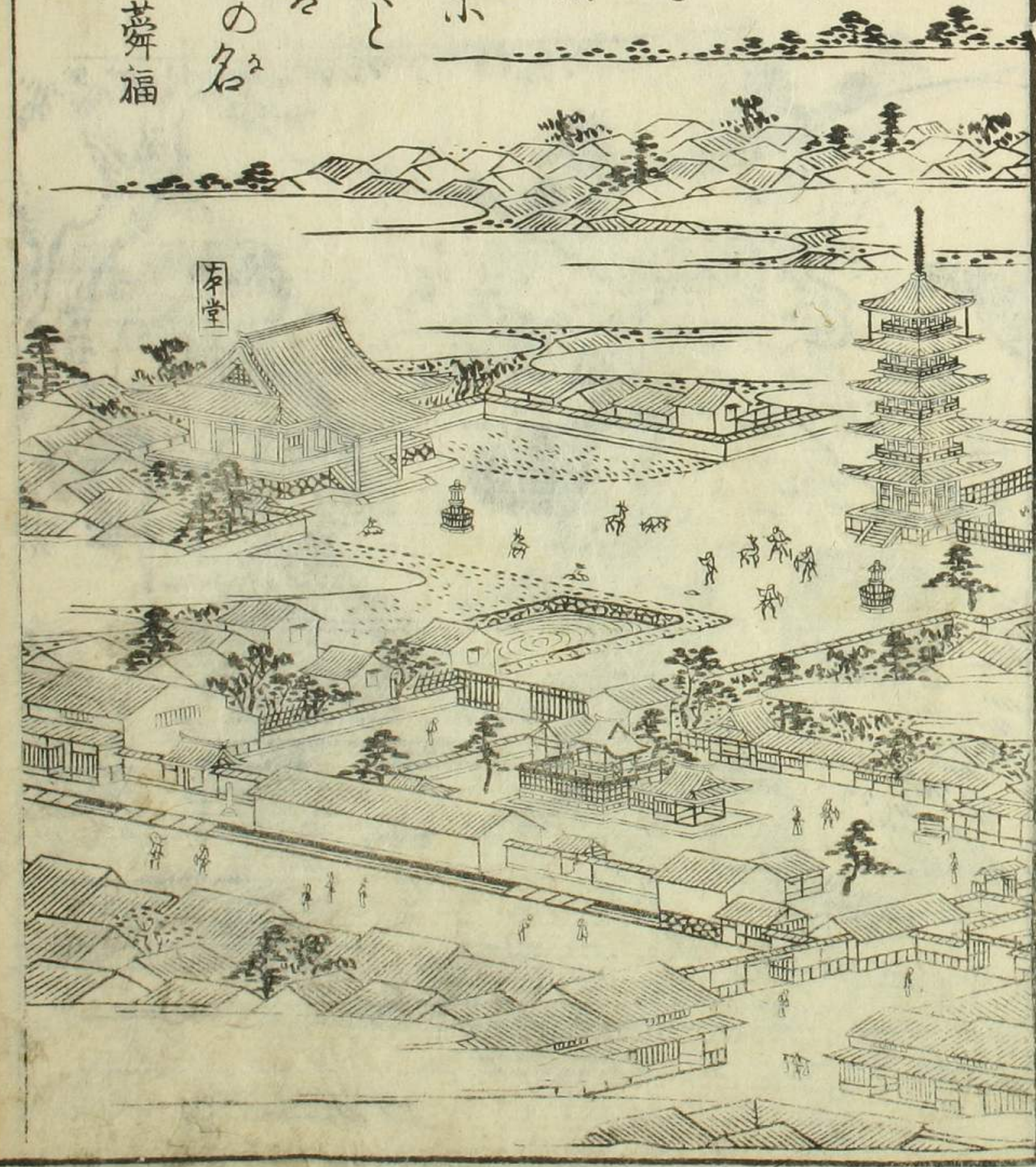


花の塩
 瓶ふ
 旅度
 つか
 こそが

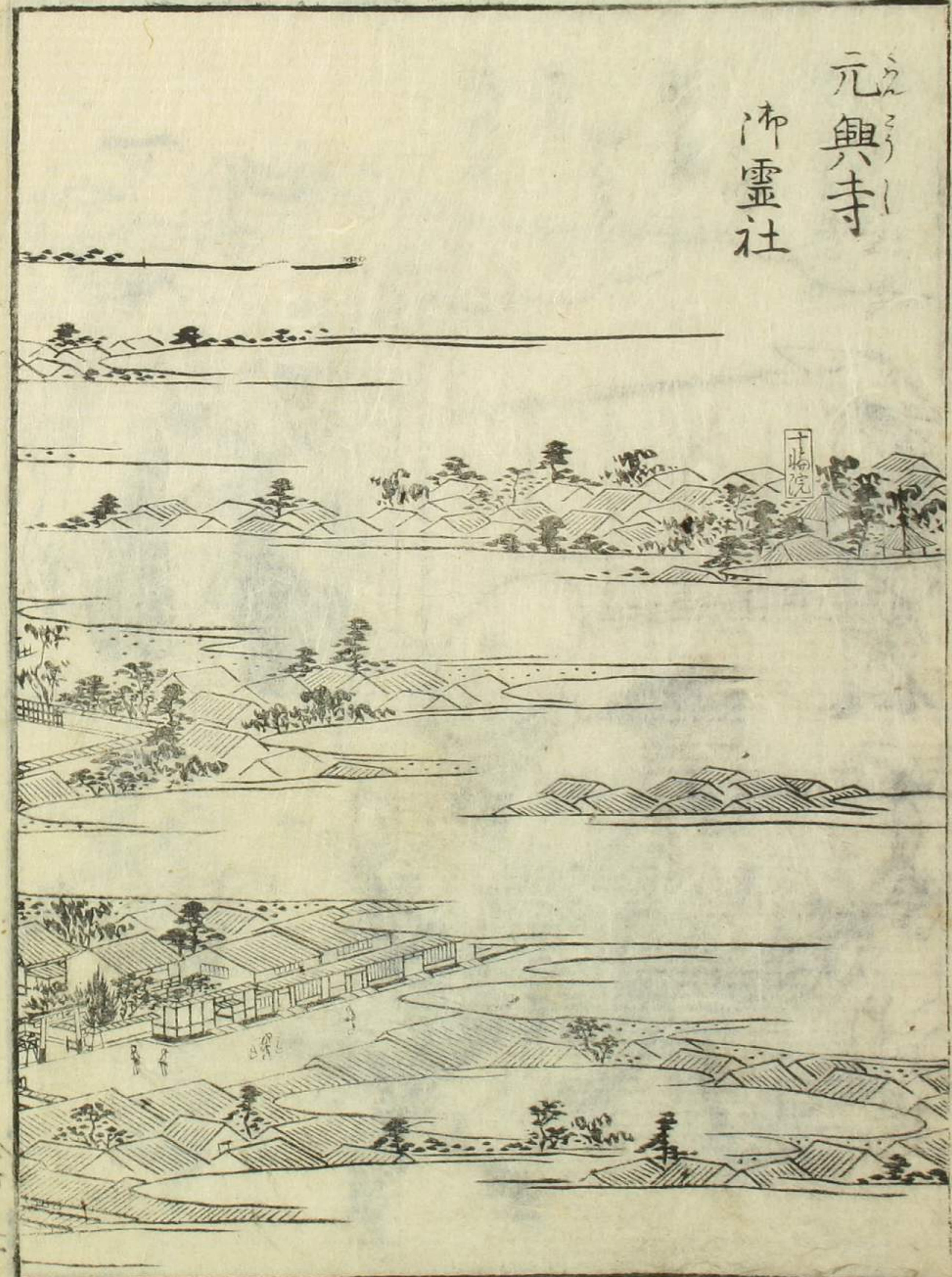


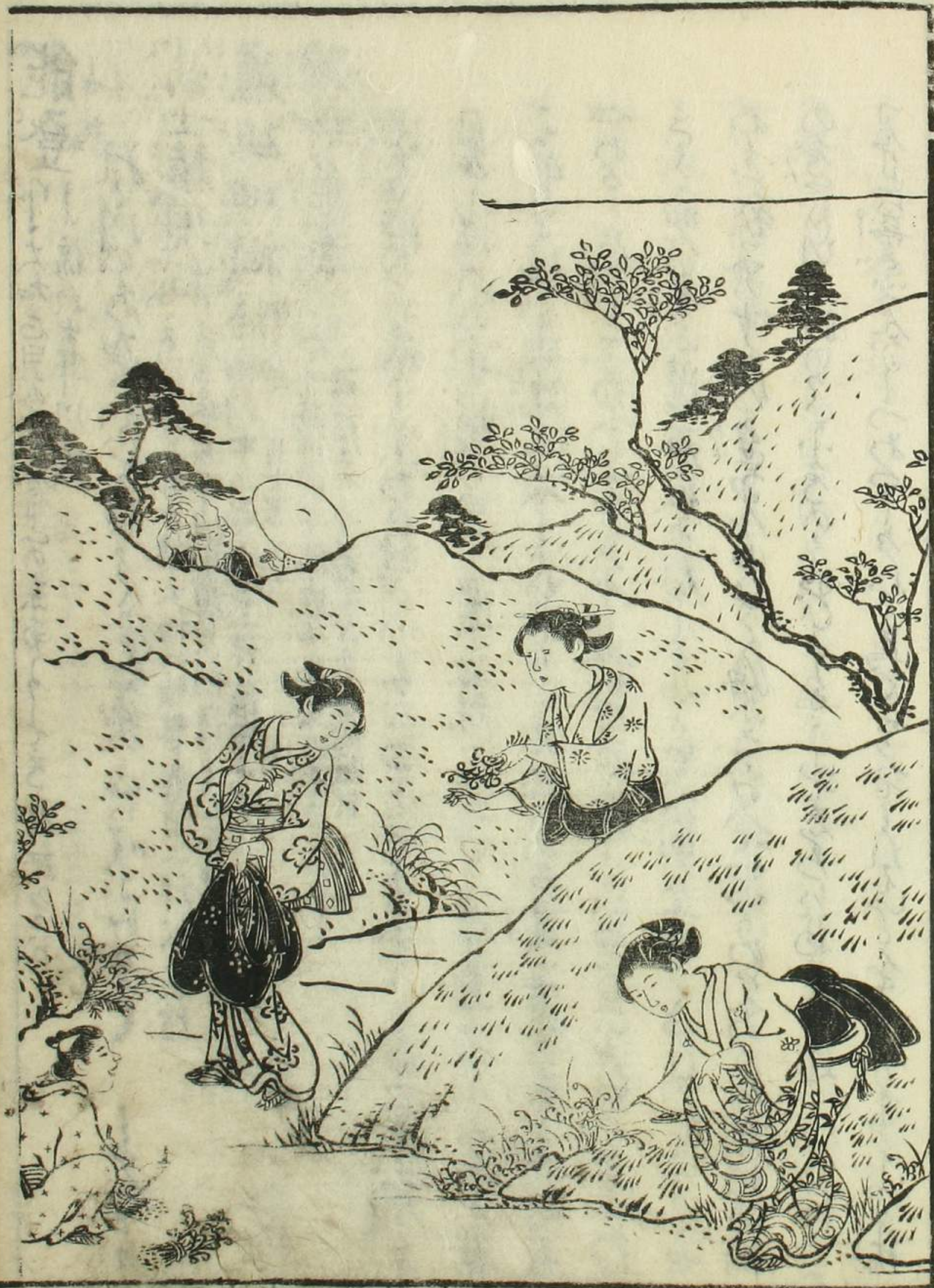
鳥声非故國
 春色是他郷

元興寺
 女鬼
 影
 小
 母
 影の
 名
 葬福



元興寺
 沛靈社





能登川 大和志曰名原春日川の東南に流るる 富紀原

此川の原をさへてはさくふと美の心は暖ふけり

富士権現祠 京終村にあり傳云初は伊勢春日二社を合す

道祖神祠 今御内所にあり 神徳田彦入命

朝野魚養屋 十勝院町十勝院の趾蹟にあり

遣唐使の遺蹟 日本小塚の妻小塚の遺唐使の遺蹟にあり

日本小塚の妻小塚 遣唐使の遺蹟にあり

遣唐使の遺蹟 日本小塚の妻小塚の遺唐使の遺蹟にあり

遣唐使の遺蹟 日本小塚の妻小塚の遺唐使の遺蹟にあり

遣唐使の遺蹟 日本小塚の妻小塚の遺唐使の遺蹟にあり

遣唐使の遺蹟 日本小塚の妻小塚の遺唐使の遺蹟にあり

遣唐使の遺蹟 日本小塚の妻小塚の遺唐使の遺蹟にあり

清頭塔 大和志曰清水町にあり俗竹之僧を助
鬼界 紀伊村東津辺にあり鬼界の別名をいひ遠流に遠流
紀寺 紀伊村東津辺にあり鬼界の別名をいひ遠流に遠流
魚養屋 日本小塚の妻小塚の遺唐使の遺蹟にあり

赤穂神社 下ろる畠所新御小あり神燈臺石小

不空院 不空院け子有東御小あり僧鑑真南基一のみ

隔夜堂 畠所の東丹坂御小あり南基堂也上人之むりより道人の住居なり

新薬師寺 不空院け子西御小あり神順礼記曰聖武帝御眼疾を治せしより

鏡神祠 大和春日新薬師の南小ありを神に

勝願院地藏堂 不空院南の南小ありを神に

不退寺 不空院南の南小ありを神に

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

大の月 大の月ありて是れはつとれ人れ老とるもの

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

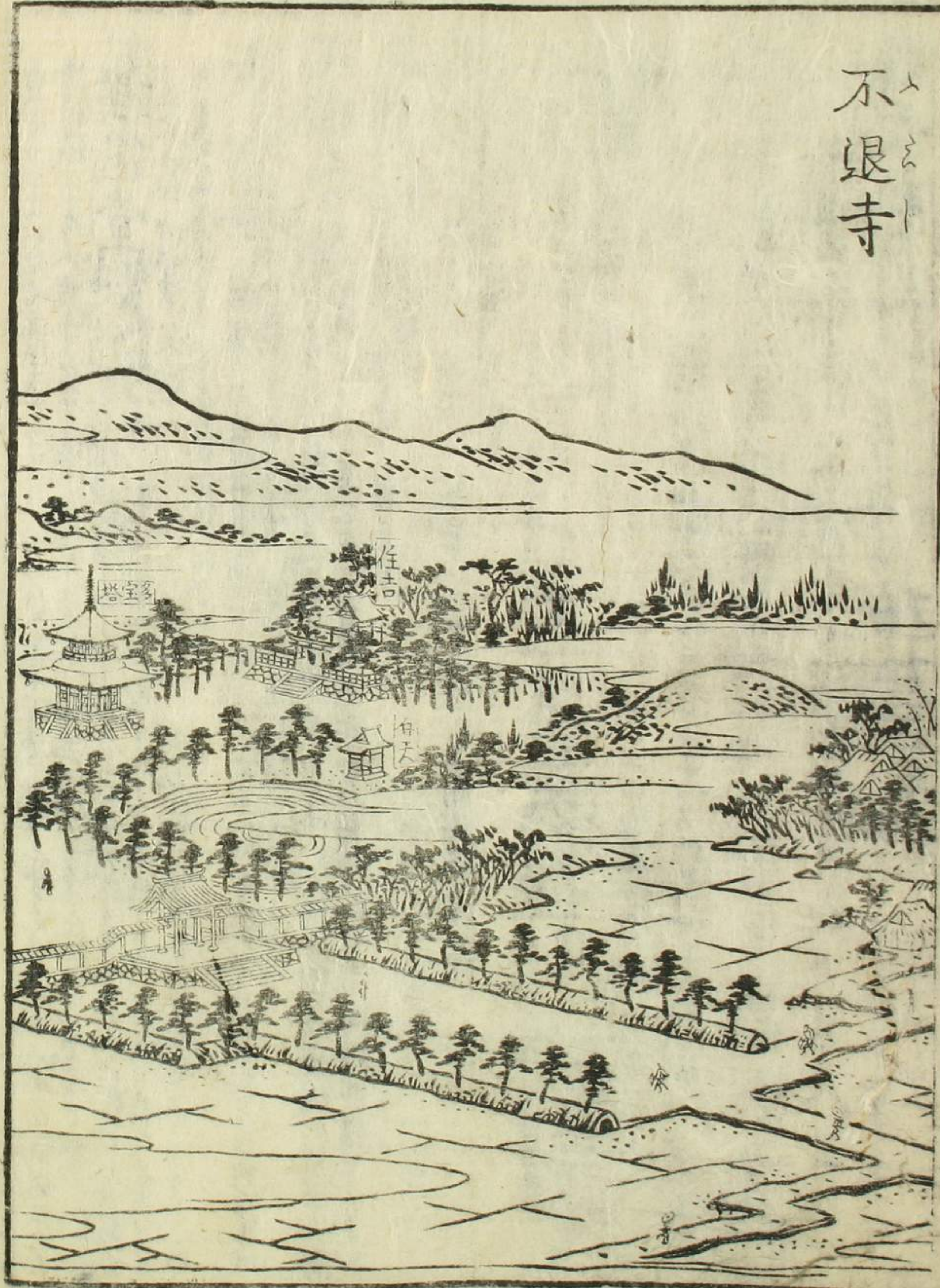
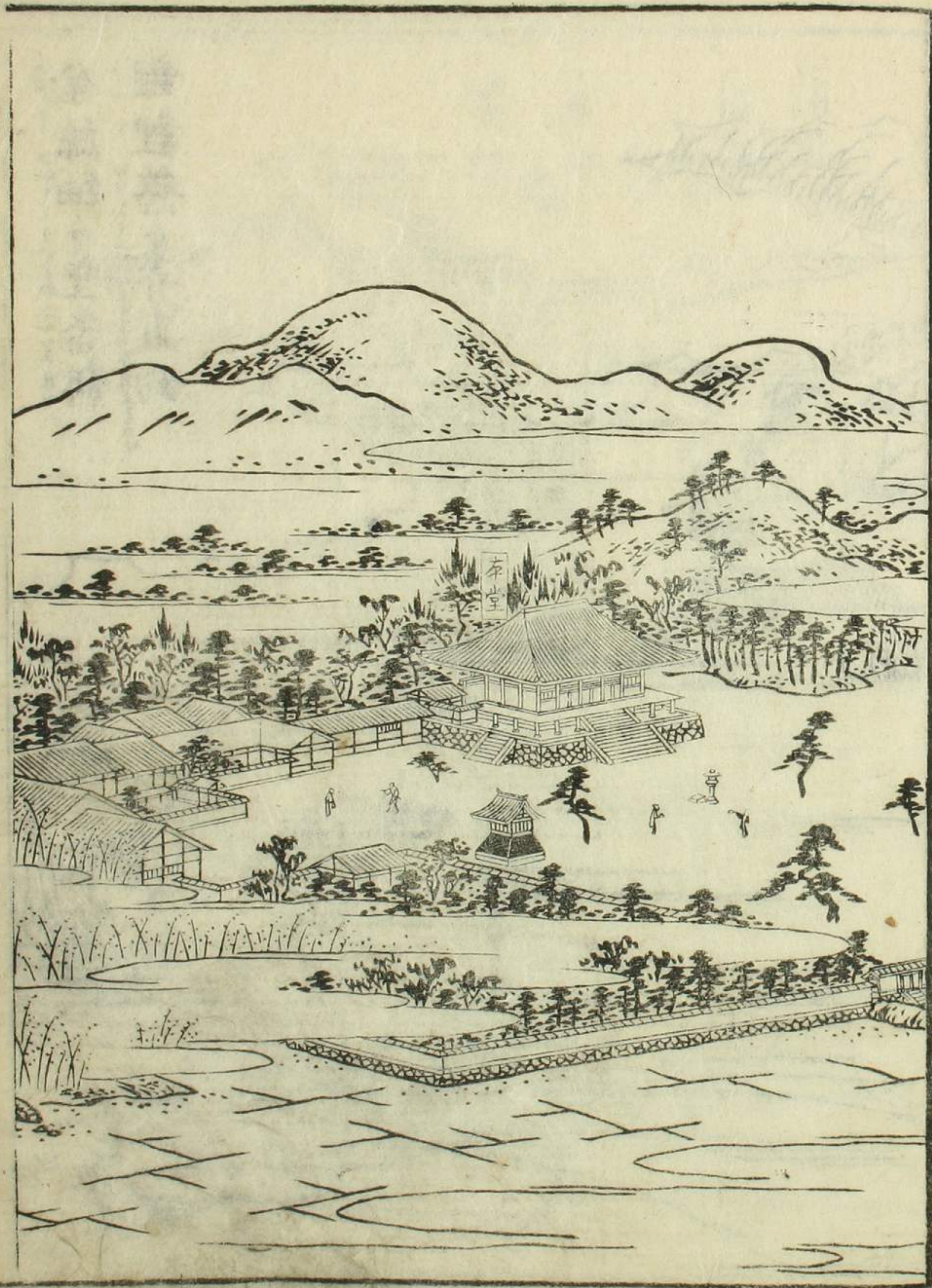
法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

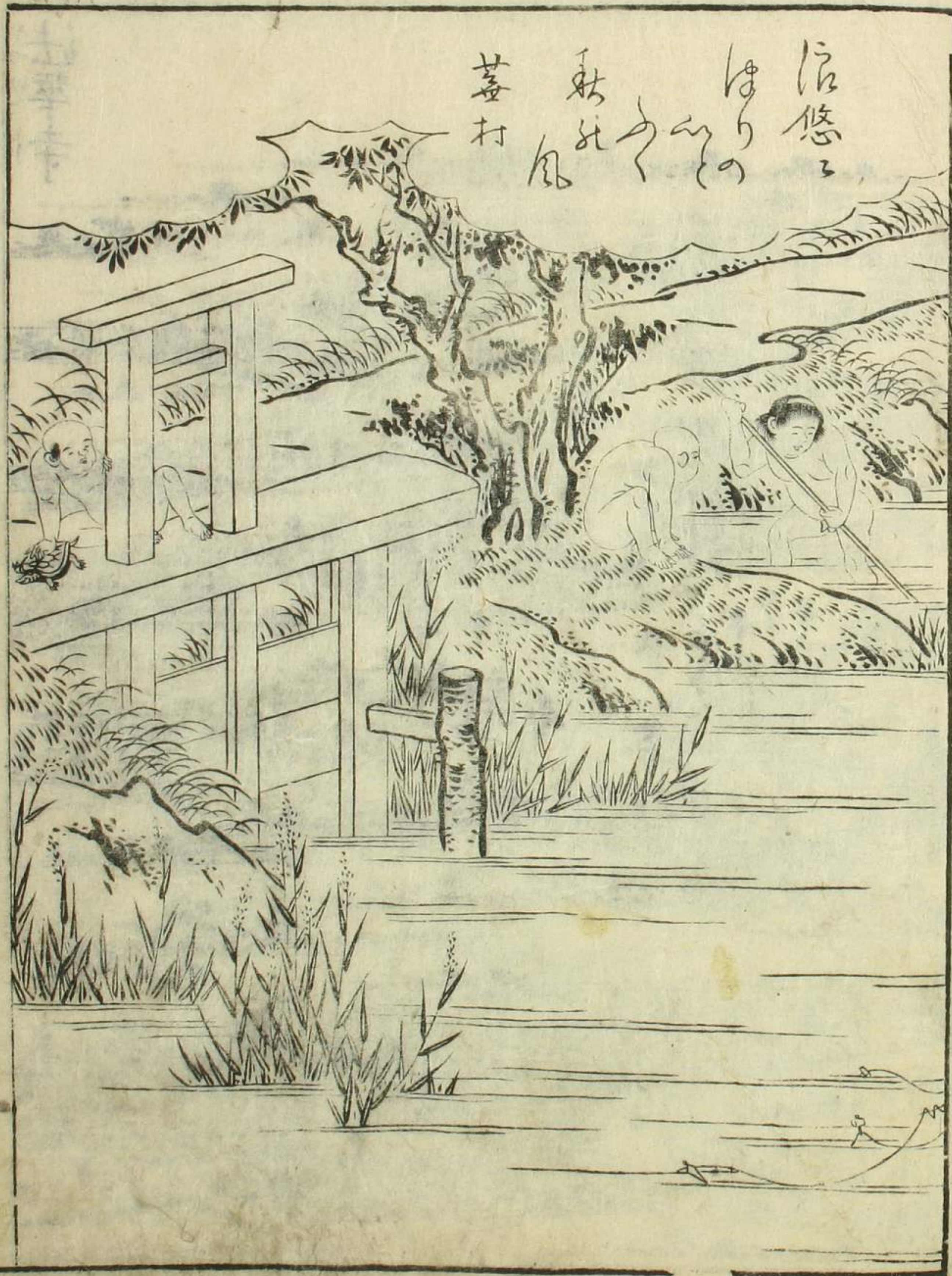
法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり

法善寺 法善寺村小あり律宗ありて尼の國多あり



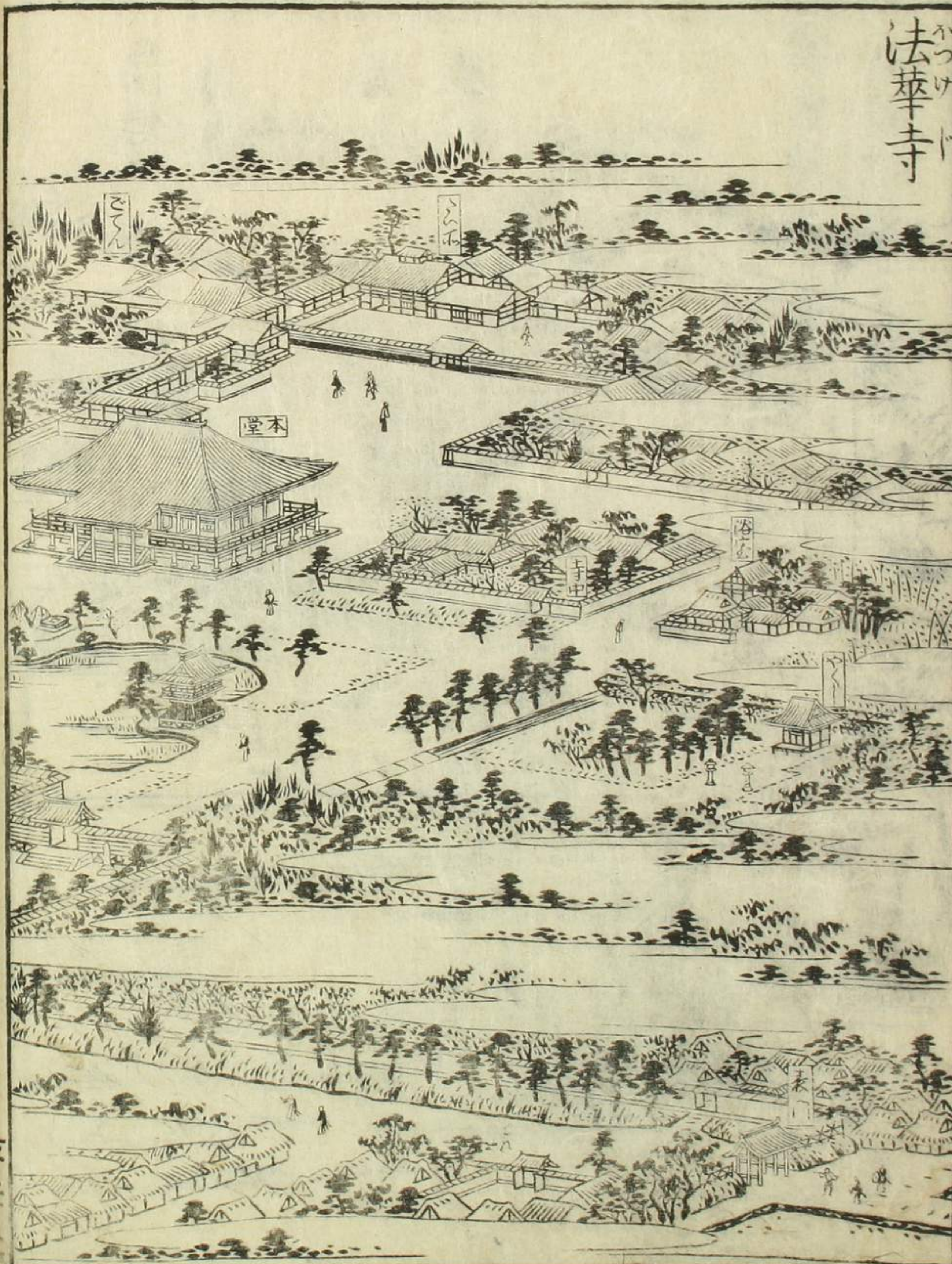
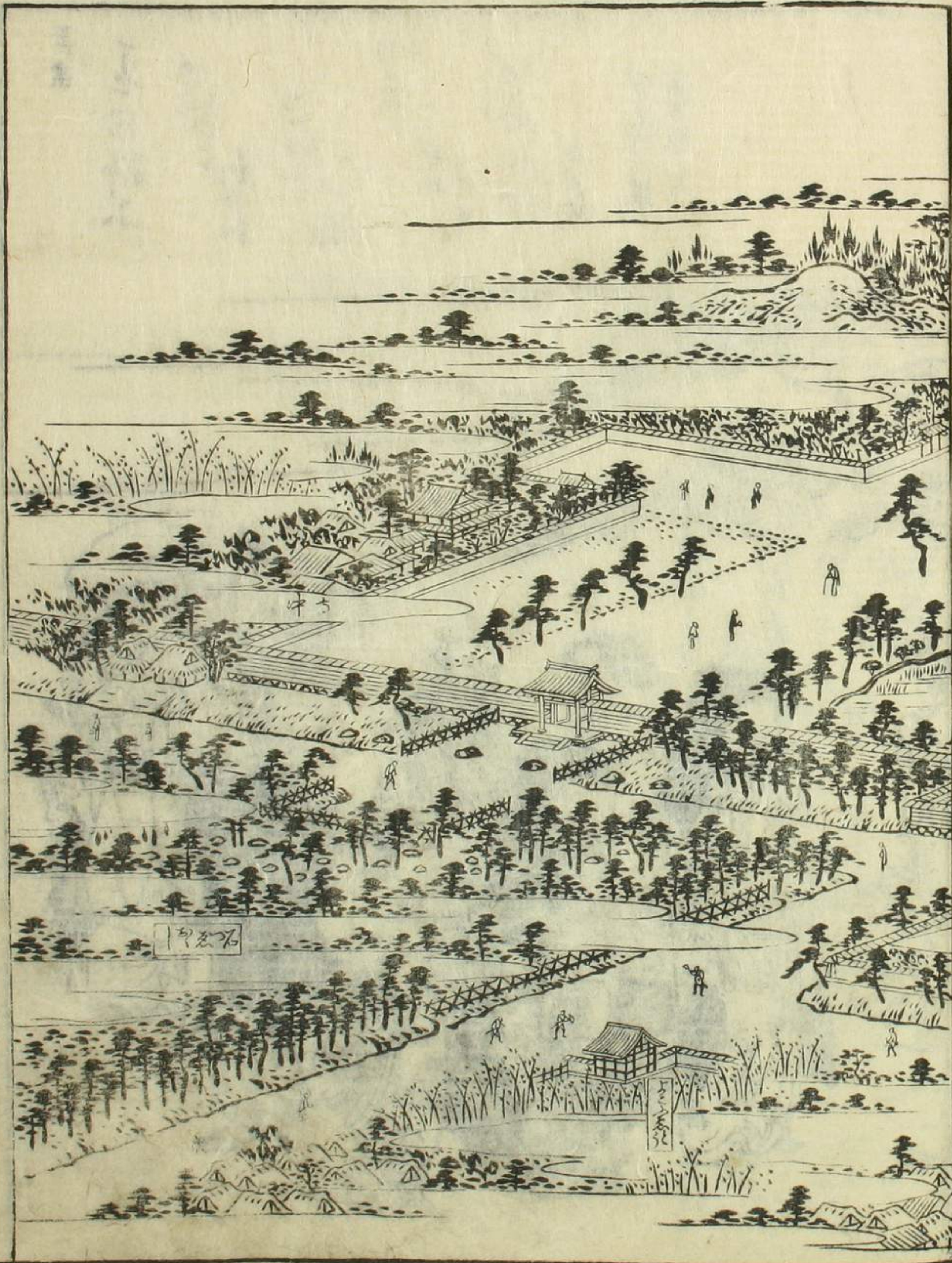
不退寺

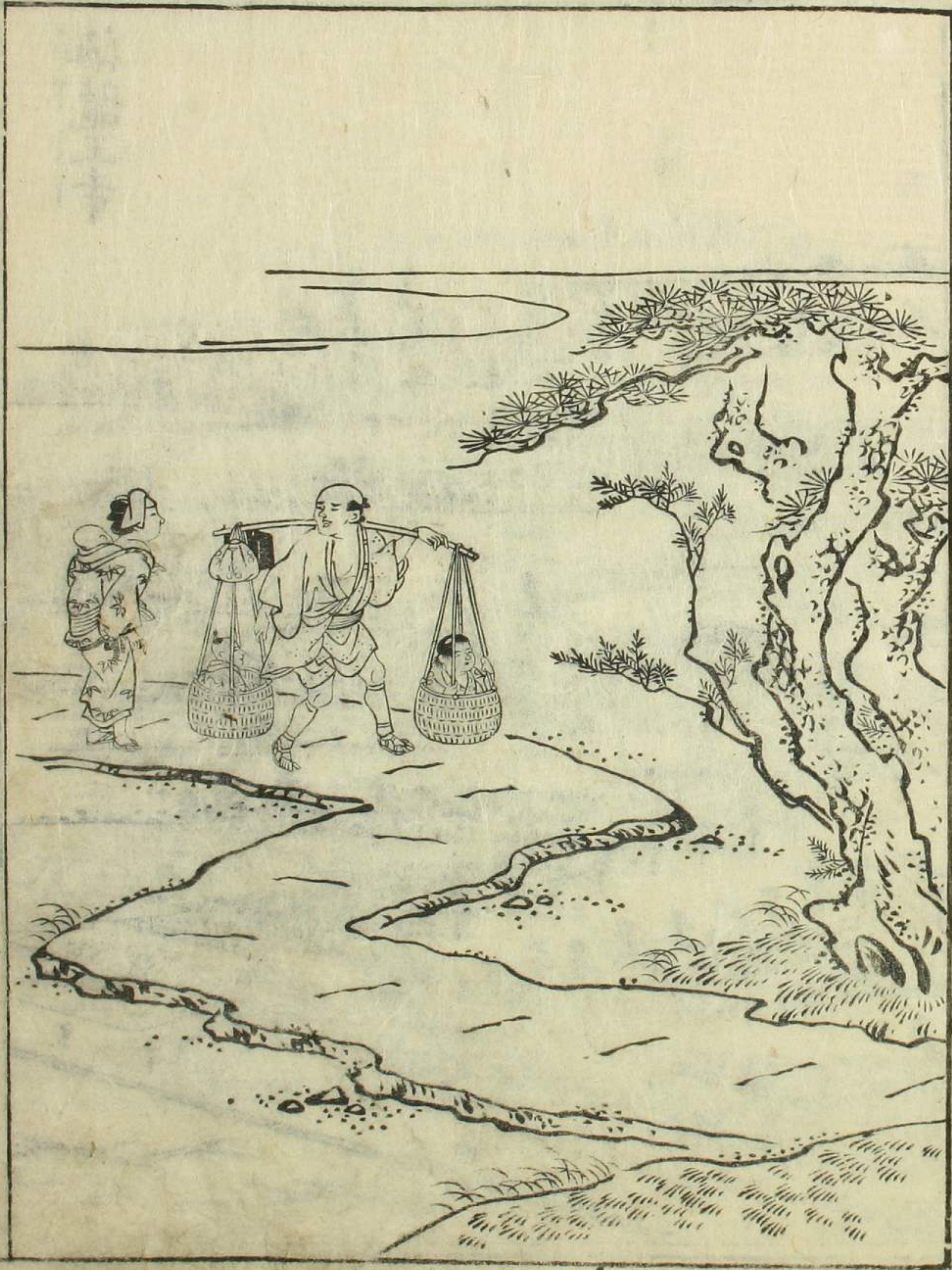


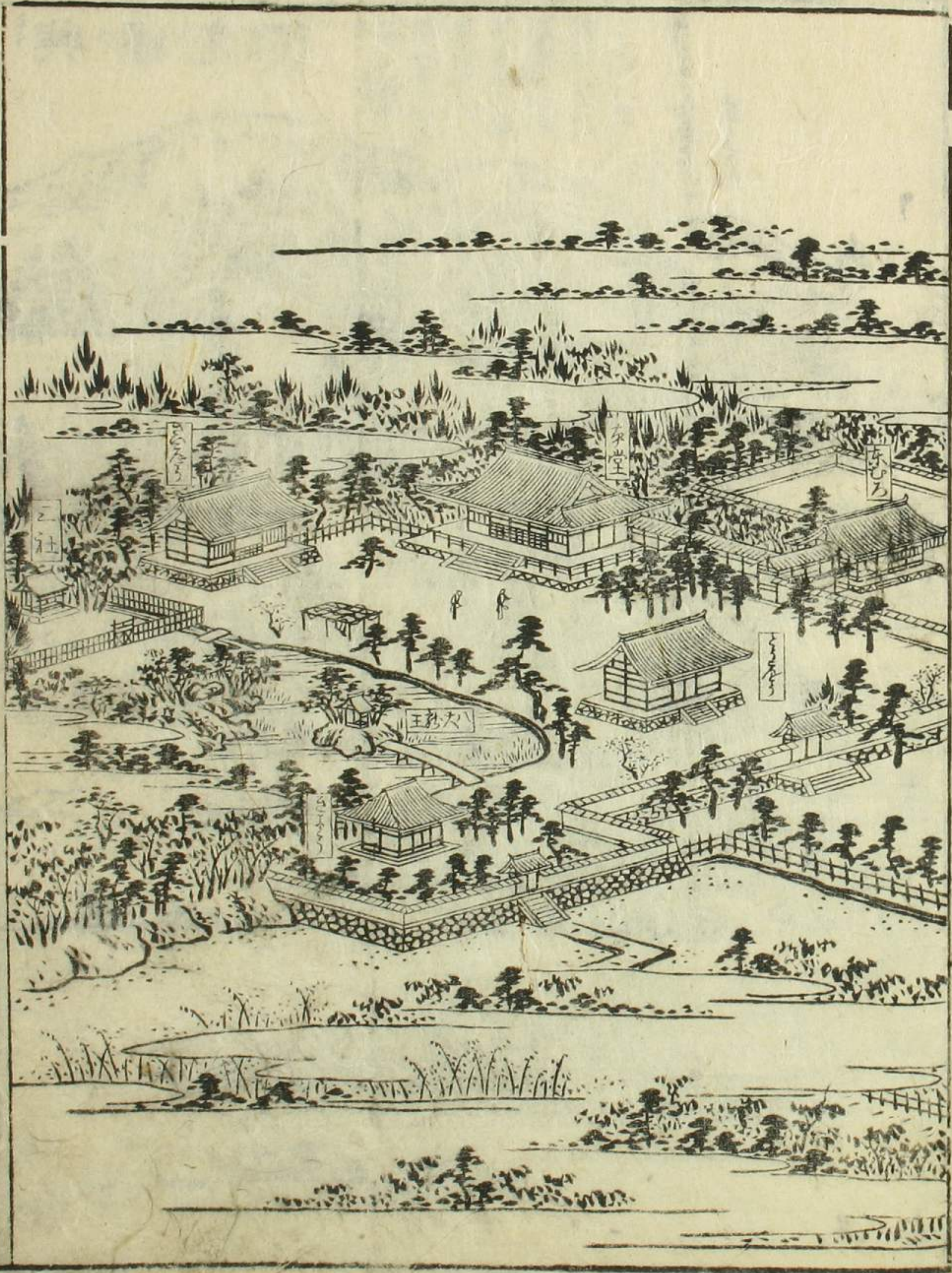
信悠
 海りの
 秋の
 暮村



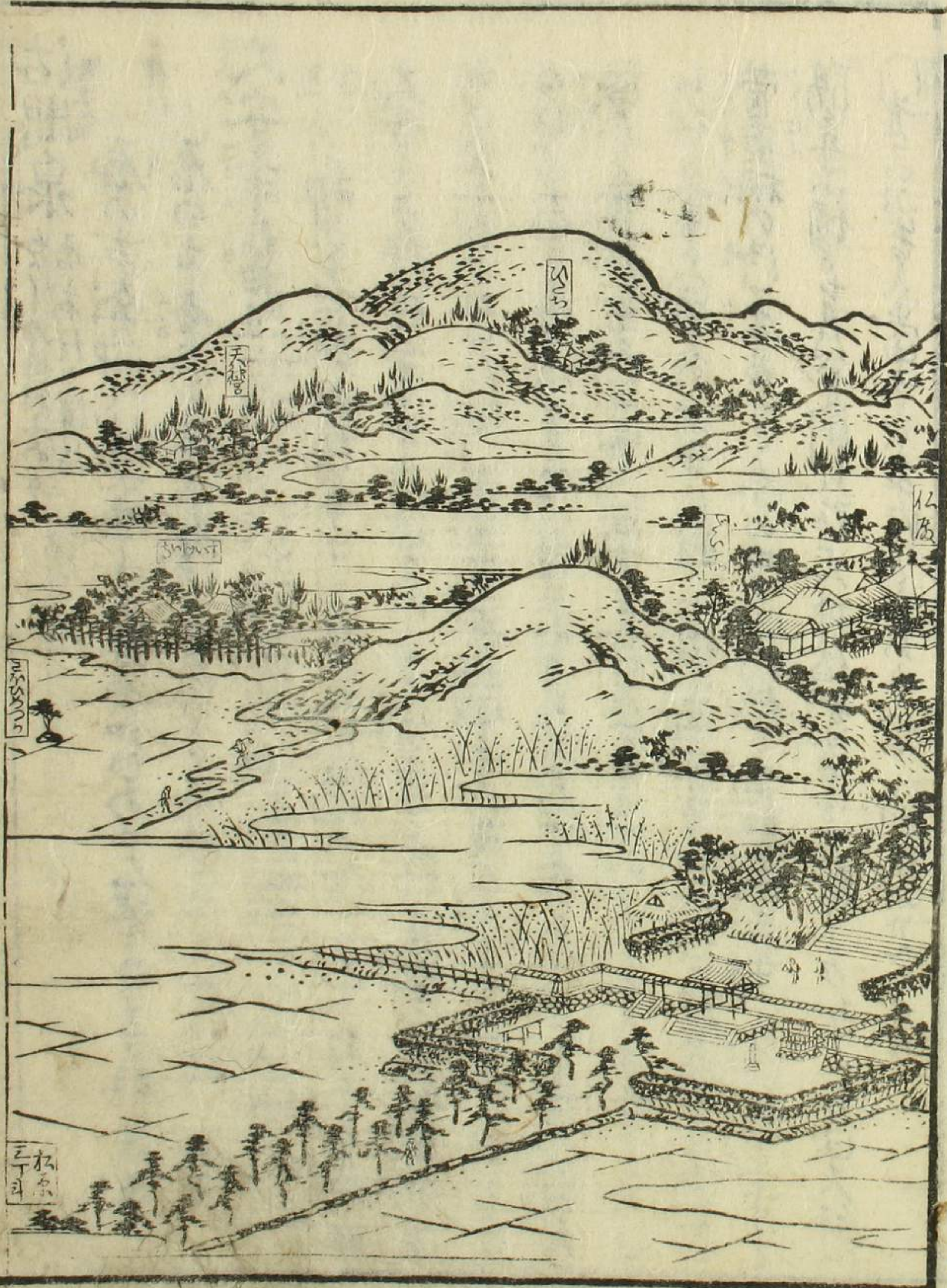
金糸細々垂香餌
 錦鯉悠々弄直釣



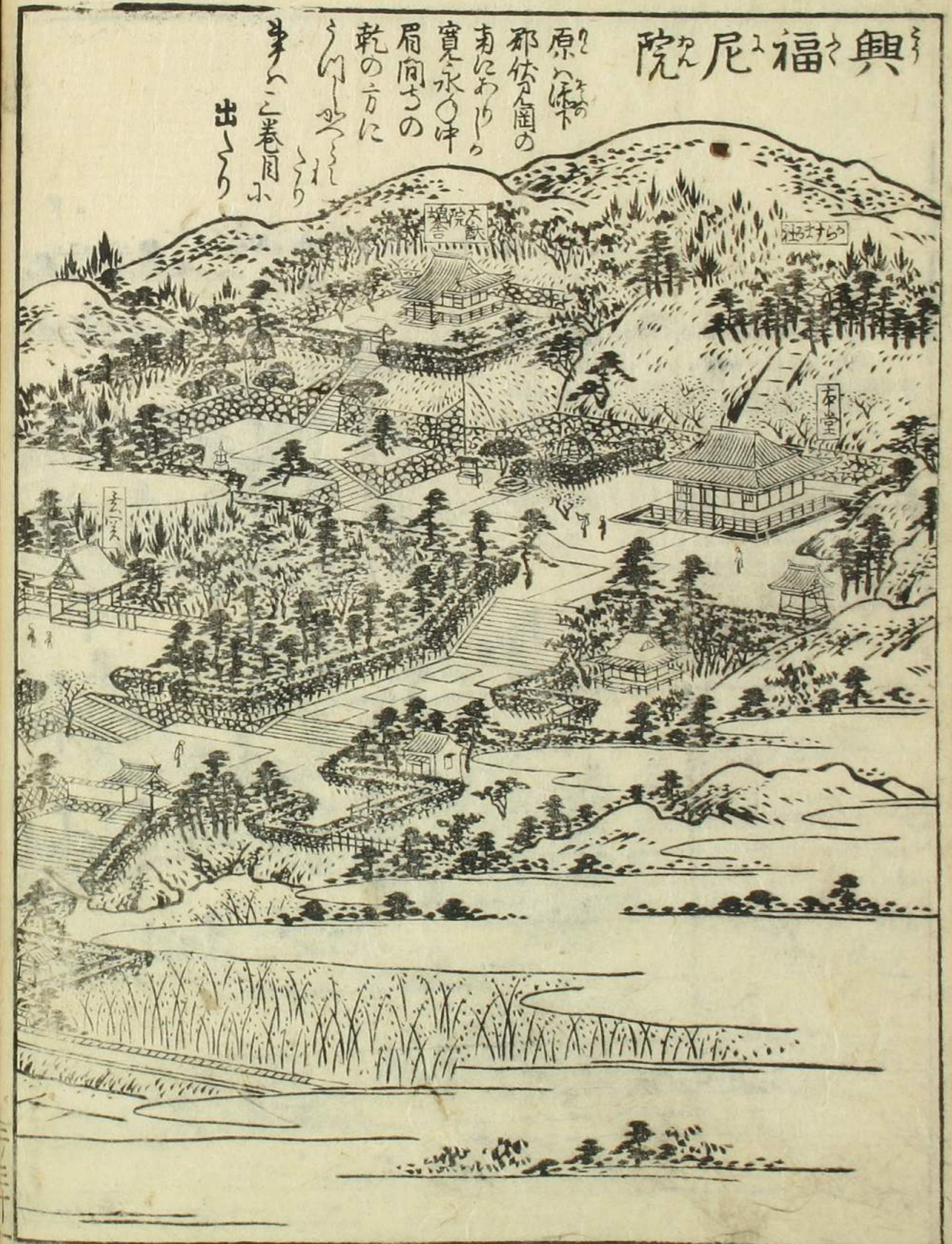




海龍王寺



三丁
松



興福院
 原の
 郡佐分園の
 有にありの
 寛永の沖
 眉向の
 乾の方に
 うつり
 出り
 小

社

本堂

五

沽明泉

居村小湊

散本集

建保百首

居の市賣同れ清水涼しくてるをひあるん地を替まれ 後頼

大安寺舊趾

大安寺村あり赤部七太ちの長一町にあり一伽藍加藍觀觀音音堂堂あり今

初の名懸

懸精舎とて其後百海のやより小川とて百海

大寺と名づけ高市の地より七太官寺と改し和銅二年伽藍佛像

等々云々云々云々道意大唐西明寺の圖に上より云々云々

天平元年は寺を再建あり其上大法會あり云々云々の水田

旋介食封二百戸賜人同十七年に大官寺とあり大安寺と号せ

らば東大西大の兩寺に對七俗小南大寺といひて押當寺縁起

菅原相の御書あり今之世々相傳り南都般若寺と海龍王寺と

隔年小領の地は是則北野天神俗別當少くあり云々云々の弘法大師

井子小舎と當寺を本坊と定めあり云々云々の日記小川とあり

宇治拾遺記

今むうある大安寺の別當よりける傍の女女が小舎今より人

の思ひを平小舎とて思ひより名をたてて益々ありありある時

を禰禰よりける是に禰の家あり小上下の人々みてあるはひける

いさるこちんちあやとれは安んんを志すとの僧妻の尼とあり

とてありある人々ある土器とては位なり云々是よりたれ

銅の湯がやけとて小とれおりの思の飲せんたものむくし

ある湯とてかしくのむまりはとて一の泉はとてまひそく

のむものもあり下らう小を志すものほね者か我やとてよふ

くらむかこれに女もたてたる銀の土器小洞の湯を合とらうと

ある聲とてよふかしくのむ目鼻よりとていひいひあふ

みてとせば不ふす物人ふまひとて土器が甚小とて

女房りくこころあはしけりのこのはんごるか思はは後梅は

思ふとふあふぬ致馬く小舎と女房といふものせたりとて

かよふもわらへきよしとけしあるさのむかふふふはあやうきそはかひくふん
ゆふとゆふとくくかおえく娘の思ふくさも矢ねねく地あねけ
さく物もくくくして知ぬ其後にはおふくくくくくくくくく

柏木村 柏木村小

柏木の森のわらをり捨る清笠のこく我のこふたり 公則
馬判侍

柏木の森のわらをり捨る清笠のこく我のこふたり 公則
馬判侍

柏木の森のわらをり捨る清笠のこく我のこふたり 公則
馬判侍

柏木の森のわらをり捨る清笠のこく我のこふたり 公則
馬判侍

真新 萩原 新撰名所集上郡之

我を又知人も志す菅のほけ杖とたぬもりのことか 後系後

我を又知人も志す菅のほけ杖とたぬもりのことか 後系後

井註柏之真北同名たは直北補ゆ入に道に國はのわや系を理奥よりこく國
のほけ候の豊子のほの北北小菅の橋津玉の萩原大和國と云之
中川寺 奈さのひくく中川村小あり成身院と号する尊愛深明王地蔵の石
像の安座二層塔あり同基の門寛範りうう後系謙謙をまを
の北よりくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

忍辱山 奈さのひくく中川村小あり成身院と号する尊愛深明王地蔵の石
像の安座二層塔あり同基の門寛範りうう後系謙謙をまを

源谷川 奈さのひくく中川村小あり成身院と号する尊愛深明王地蔵の石
像の安座二層塔あり同基の門寛範りうう後系謙謙をまを

平清水 喜多村の路傍小あり清澄其例ありり人の喝を止む

氷室齋趾 使川村小

柳生營 柳生村小あり元和年中菅系宗頼善劍法に練ひしり

夜支布山神社 大柳生村小あり今天王と称は

四十八端 桃香井の中小あり
其飛袋の枝ぬんか

桃香野渡 桃香野村より名張川に

名張川 名張川の側小あり海水のみとてとて下流に

八幡社 桃香野村名張川の側小あり海水のみとてとて下流に

八丈巖 八丈の側小あり海水のみとてとて下流に

光仁天皇陵 東田系村小あり陵考小曰字塚之朝人皇四十九代光仁天皇の陵なり

烽火 鹿野苑の側小あり鉄伏といふ中に民居あり和洞五年正月

宅布世神社 依村小あり社名此出

永井池 永井里北庄村小あり八丈野村之永井里大和國

和珥池 常解の町にあり永井池の西の方あり

和雨坐系坂古神社 和雨村小あり社名此出

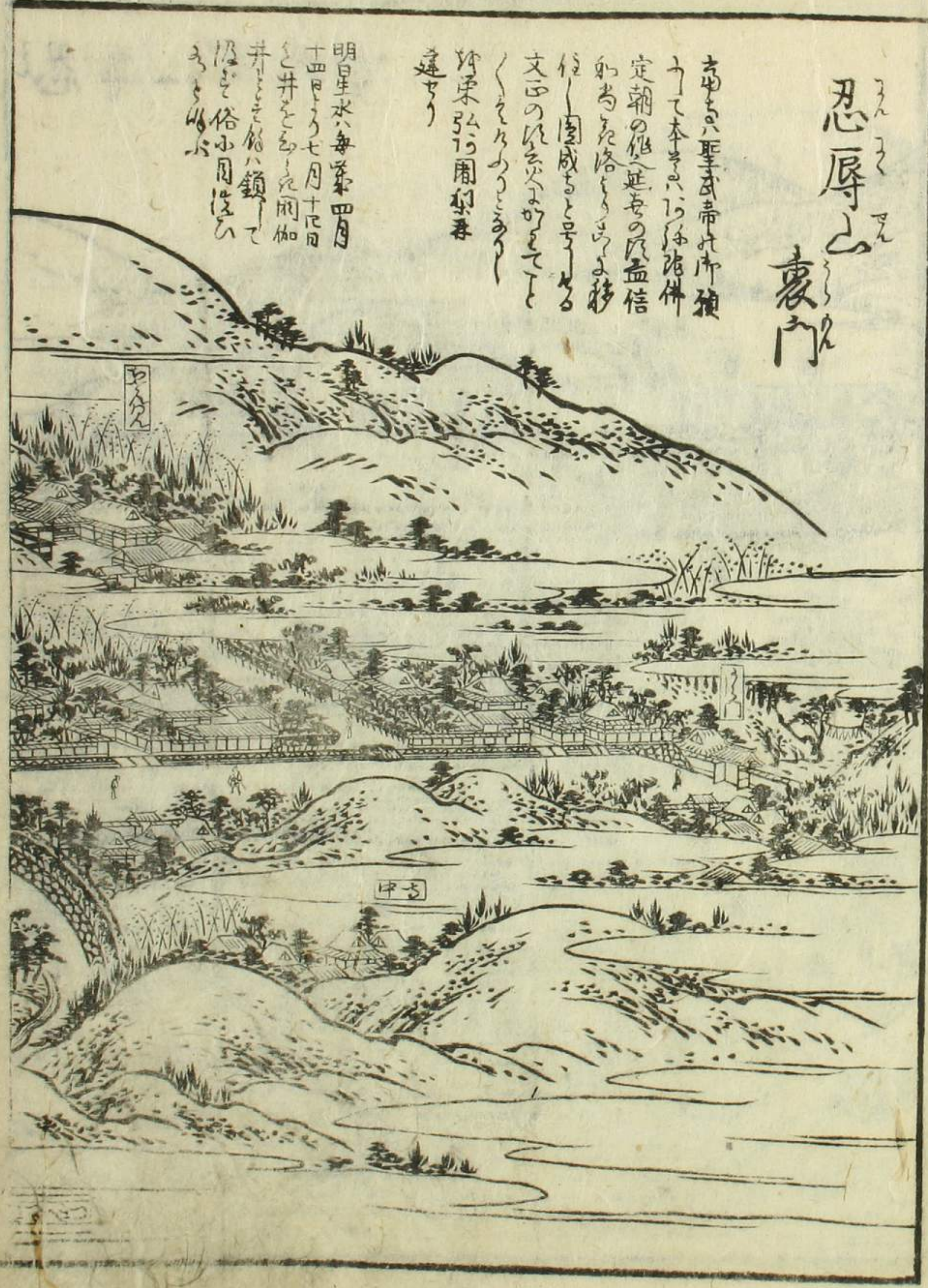
穴次神社 古来村小あり社名此出

隣村横井欄祭記に類す

忍辱山 裏門

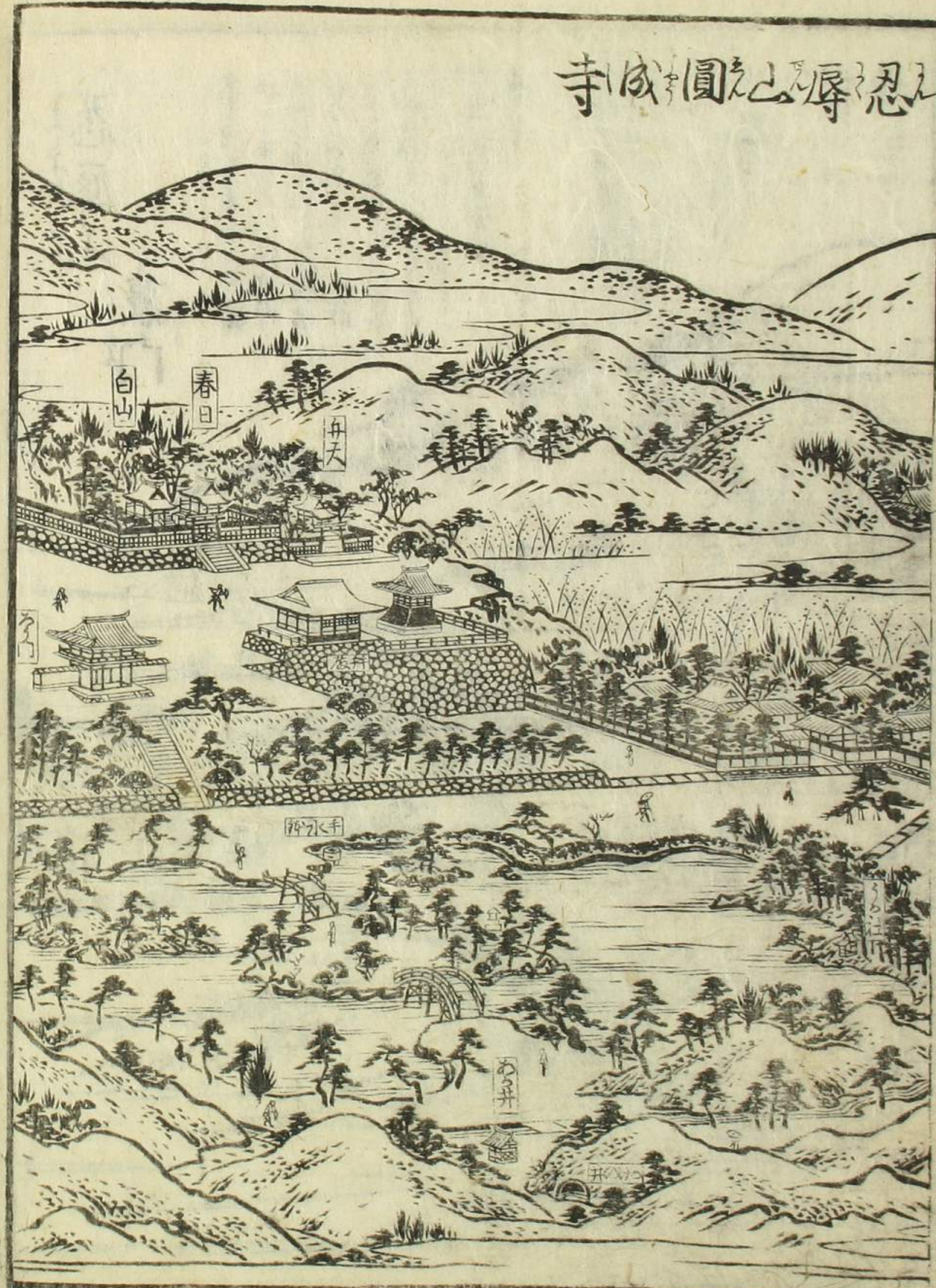
古くは聖武帝此所種
うて本寺にあり神佛
定朝の他延喜の成益信
和為を洛ともあり移
住し園成ともあり
文正の頃よりありて
今もあり

明日生永每奉四
十四日七月十日
と井をありて雨加
井と俗小川はあり





忍辱山之圓成寺

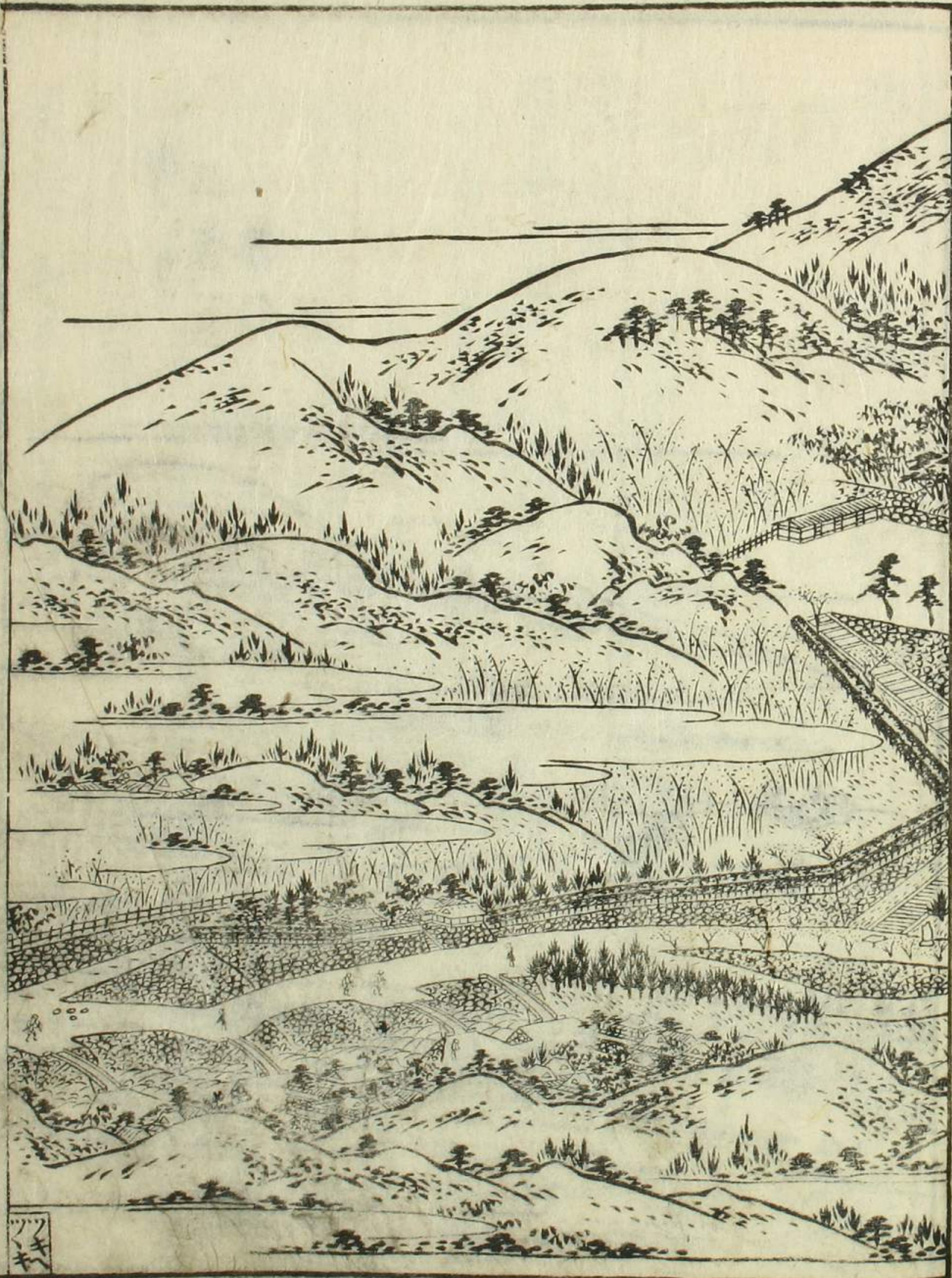


正愛炎天暮日類
 飛蚊擾々復如雷



教
 々々の
 割
 夕
 常
 矩





菩提山



おととい
心替る
想門



崇道天皇陵

古市村小あり天皇の極武勇の皇孫なり
野良親王とて
國小ふりし
配所
かくとせ
の
御憤
たふより
疫癘
流り
世乃人
多く死す
帝驚
たふり
勅使
の
倭
國
一
親
王
の
骨
を
ひ
と
り
大
和
國
に
陵
に
収
め
し
れ
と
水
鏡
に
入
り
し
り

名島寺

今ささるるに延暦入の小造管あり
勅がささるるの國々の編が別ち
け寺にささるる崇道天皇小の植ののけのささるる
秋まはるるなり

藤原

村の名ささるるの郷小あり
八雲
神
お
ま
諾
樂
宮
の
夏
系
小
あり
二
月
の
日

帯解地蔵

俗小常解ちとす
奉尊の地蔵菩薩を目的の促むり
文徳帝の后深殿
皇太后
御懐胎
の
日
二月
御誕生す
は
さ
の
衣
袂
醫
院
の
ま
道
小
御
さ
す
天
下
の
靈
佛
靈
社
小
常
解
と
ま
れ
御
禱
あり
は
其
驗
さ
た
か
一
室
小
ま
日
明
神
石
の
御
後
小
若
さ
の
八
和
別
係
上
郡
に
裙
帯
の
形
を
彫
り
た
地
藏
を
あり
是
を
念
せ
は
其
靈
を
道
と
て
安
ん
ん
若
さ
の
や
う
け
う
の
奉
圓
あり
は
ん
帝
教
威
の
心
を
た
勅
使
と
ま
す
を
御
禱
あり
は
小
祿
を
く
白
玉
子
御
誕生
あり
し
是
則
惟
仁
親
王
と
信
じ
たり
後
小
清
和
天皇
と
す
ま
げ
を
れ
り
伽
藍
を
御
建立

是則惟仁親王と信じたり
後小清和天皇とす
まげをれり
伽藍を御建立

ありて平産津飲の寺なりて常解と號し後人亦かきつ

小里々々布と我々受けあり
和爾下神社三坐 横田村と標本村とあり 治遊天皇と標本

龍腹寺 神殿村

奇異雜談集曰 ありて照り後小ありしはまの種なるもの秋の
實の山へて小わらびと雨の祈り法義八講を修めたる人形を我々
しける種なりと人形をとりし光をひかりたり種師ふむし龍女
成俣の丈心肝小孫龍宮城といひ成俣土に忍びかすは報せられ
雨なまよせんといふとやとれどもつれ小龍之大龍王のゆりといふと海を
してふしぬまふ命の害しはとよしく菩提といふとるん命の害より
もやとく華よりとやとりつる命は捨る雨ははのせん菩提は種師よ
はらせむといひしをたきとる龍(虚空)をとりし風暴に
まきちて雨車軸の如く泉舟艦といふや色人民(轍魚)乃こ

外の水は求め筆をのて天は雲小初らかりあり雨晴を消くおうい
ふしのをなかきつるを聘を響たりあややとらん龍といひ
られどあつらひるらんおん菩提を龍頭寺龍尾寺龍腹
寺といふ寺なきともあひるん今龍腹寺其一つ之を云

虚空藏寺 清澄在虚空藏村の本寺 虚空藏菩薩 弘法大師也 西院 舞の

小涌出と靈驗掲焉と小神堂深く信んて 精舎を造立し大師
自らお創み虚空蔵の像を造り銘額をゆて名居らむ付寶く

の令て寶貝を直雅真然真紹考相續く後職に定ふ所 正し
真雅の儀を清くけすまの管領の向みいゝる像に流とて云ふ三王の

像の刻を副く安を一歌代に跡相承の寺とて云ふ

清澄池 高樞村あり其水清くして

ありて小まよるしれは社の教をいふと清澄の池 神祇部所件

本^ま路^ち
 取^と
 牛^う駒^まの
 山^{やま}
 雨^{あめ}乃^の
 其^{その}角^{かく}

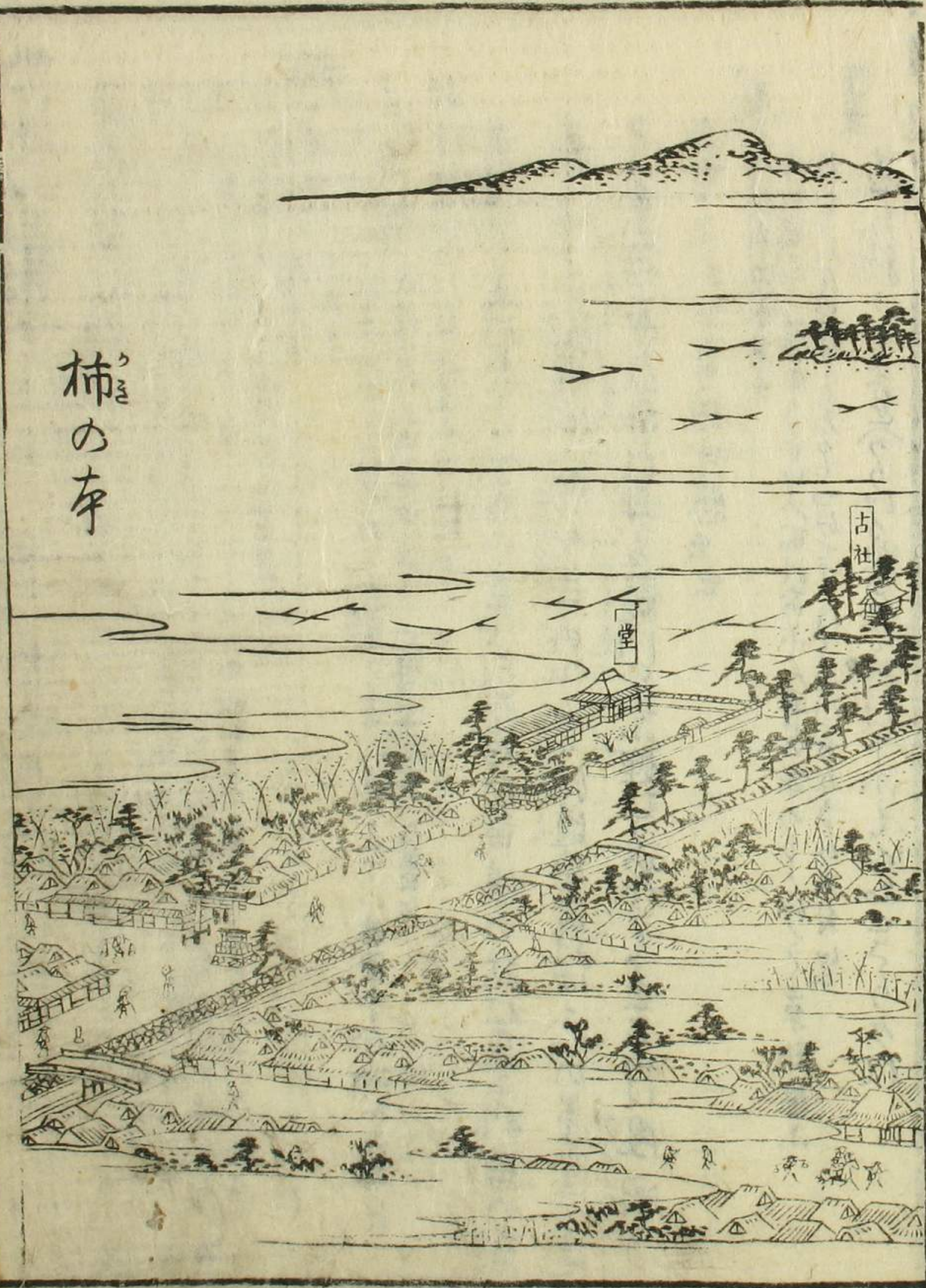




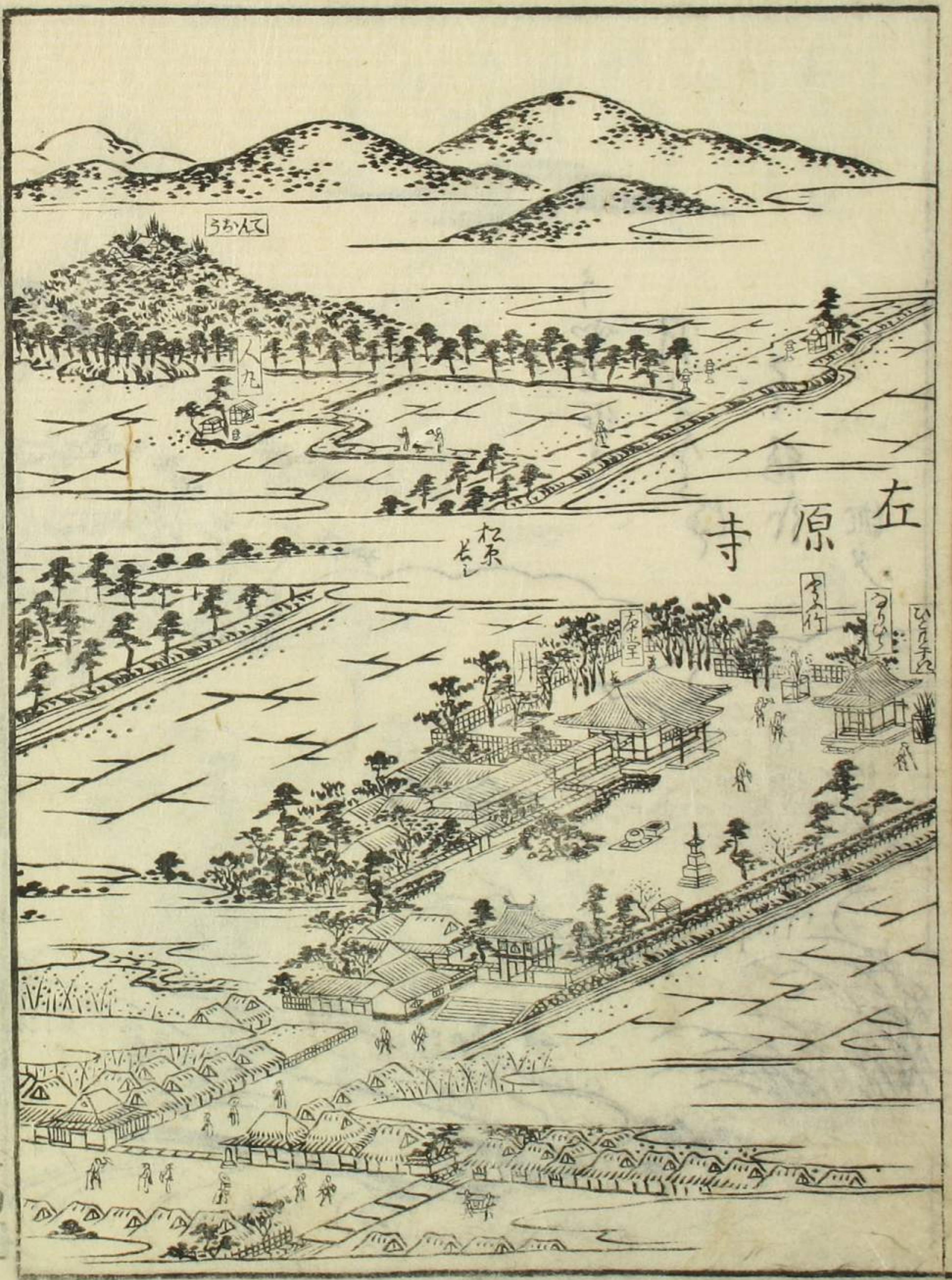
帯解地藏
おひとりのぢざう



柿の本



二ノ四十一



菩提山正曆寺

素より一里半あり異橋尾村の西あり

本尊藥師佛

龍樹院と号し寺中四十二坊あり
新樹菩提の化せり云々
建保の既信圓大僧正再貞あり
孫定兼實のゆき之實永六年火上の時如來の像火ふもそこをいれせり

柳本寺

柳本村

人丸塚

柳本議式曰

當寺ふわり石碑あり歌家と書け銘に天王山佛國寺百拙和尚撰
相國ちの大典禪師迎年人磨事跡考に著け

青陽のまればふ常のまじはねの黄壤の林は病小別離の嵐

長く吹く大和國流上郡石上寺のやうり治道のまれば中一の茶堂は建

つて安小柳本は葬身と龍門の赤埋むとくも之葉け風闕乃

寶ころけし可惜可悲云々

長清補朝臣家集云

大和國石上村本寺といふ所は小人磨の塚ありとげく身都婆小
柳本人丸の墳とまをりつけてこけにけふんせ付ける

正葉
在ん終くもをりける歎を菩提下小もせりらん

鴨長明無名抄曰

其後村のともくもあやしむるまなるらんりりり云々
人丸の墓は大人和國小あり初瀬へある道中り人丸塚といひくるありは云々

王葉

妙つた迹は苔の下やそらひのそらひのりて言さうや 寂蓮法師

心つやとそらひの病れねとふ法の海へけいやくらん 橋本言長方

或記云文明の初つて連歌所宗長この所ま

種とあわらふとくともので田々か

吉野指日記云 道遙院西三条 天文二十二年二月廿六日紹巴の案内ま

け折にほくくはひく
く小村なるを葉と葉にわたのかりとより朽に歩るとやふ

猶葉和詞集云

よりのりけすう君のいそれくものこくく人くあふみはらん
よりのりけすう君のいそれくものこくく人くあふみはらん

